

熊本機能病院 レポート

YEARLY REPORT 2019

2019年 年報

寿量グループ事業理念

寿量グループは「Social inclusion（社会的包摂）」の構築に貢献します

社会医療法人寿量会憲章

私たちはQOLの向上とノーマライゼーションの確立への道を歩みます

熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします



沿革・概要

History & Overview

1

- 01 目次
- 02 社会医療法人 寿量会
- 03 熊本機能病院の理念
- 04 関連法人
- 05 理事長挨拶・院長挨拶

医療・介護活動の

まとめ

Summary of Medical Care

2

- 06 論文表彰
- 07 月間MVT受賞チーム
- 08 2019年度の主な活動
- 09 診療科別患者数・紹介率
病棟種別 入院・退院経路
- 10 入院病名統計
- 11 入院時紹介元施設
退院時紹介先施設
- 12 入院患者診療圏
- 12 年度別 入院患者年齢層
- 13 平均在棟日数
クリニカルパス運用率
手術件数
- 14 インシデント・アクシデント報告状況
患者満足度調査

部署別報告

Departmental Report

3

- 15 整形外科
- 19 形成外科・小児形成外科
- 20 皮膚科
- 21 脳神経内科・リハビリテーション科・内科
- 24 消化器外科
耳鼻咽喉科
- 25 循環器内科
- 27 血管外科
- 28 リウマチ科
脳神経外科
- 29 救急科・外科
- 30 放射線科・地域医療連携画像診断センター
- 31 麻酔科
- 32 薬剤部
- 33 医学検査部
- 35 栄養部
- 36 総合リハビリテーション部
- 38 看護部
- 39 医療安全管理部門
- 40 医療連携部
- 41 清雅苑・地域ケア支援センター
- 44 熊本健康・体づくりセンター
- 45 有明海リハビリテーションクリニック
- 46 なないろ森の保育園

社会医療法人 寿量会

社会医療法人
寿量会

熊本機能病院

院長：中島 英親
病床数：395床（一般病棟：138床 地域包括ケア病棟：55床
回復期リハビリテーション病棟：131床
障害者施設等一般病棟：71床）

介護老人保健施設 清雅苑

施設長：山永 裕明
入所：定員80床 通所：定員140名

指定運動療法施設
熊本健康・体力づくりセンター

所長：原田 栄作

有明海リハビリテーションクリニック

院長：梶原 瑞恵

地域ケア支援センター

- 通所リハビリテーションセンター清雅苑
- 訪問リハビリテーションセンター清雅苑
- 熊本機能病院在宅サービスセンター
- 訪問看護ステーション清雅苑
- 熊本市北3地域包括支援センター

なないろ森の保育園

(熊本市保育所型事業所内保育事業)

園長：西田美津子
定員：25名（0歳～2歳）

2020年8月1日現在

標榜科目

整形外科	形成外科	小児形成外科	脳神経外科
血管外科	麻酔科	放射線科	循環器内科
脳神経内科	リハビリテーション科	リウマチ科	内科
救急科	外科	皮膚科	消化器外科
耳鼻咽喉科	小児科		

救急・特殊センター

- ・救急センター
- ・切断指肢再接着センター
- ・農業外傷センター
- ・四肢外傷センター
- ・循環器センター
- ・総合血管センター
- ・国際唇裂口蓋裂センター
- ・アノマリーセンター
- ・神経生理センター
- ・地域医療連携 画像診断センター
- ・神経難病センター
- ・スポーツ外傷センター
- ・人工関節センター
- ・骨粗しょう症センター

附設・併設施設

- ・熊本加齢医学研究所
- ・地域交流館

当院の患者さんや家族の方々の会

- ・唇裂口蓋裂 親の会「あじさいの会」
- ・パーキンソン病 友の会「楽友会」
- ・骨粗しょう症 患者の会

地域の方々の会

- ・NPO法人健康と幸せの会

受託事業

- ・熊本市北3地域包括支援センター
(熊本市高齢者支援センターささえりあ清水・高平)
- ・熊本地域リハビリテーション広域支援センター

■熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします

■理念の実現のため、私たちは以下の項目を基本方針とします

私たちは人間の尊厳を守り
健康生活への奉仕をいたします



For Patients



For Community



For Staff

◆患者さんのために…………… For Patients

- **一貫した医療**
24時間体制、救急医療から疾病治療とリハビリテーション医療を通して生活自立支援までの一貫した医療を実践します
- **パートナーシップ**
私たちは患者さんとのパートナーシップを最も重視します
- **高度治療**
疾病の高度治療の充実をはかります
- **医療安全**
安全はすべてに優先すると考えて医療を行います
- **個人情報の保護**
職員は職務上知り得た個人情報を守ります
- **エビデンス**
エビデンス（科学的根拠）に基づいた医療を実践します
- **チーム医療の実践**
高い専門性を持った多職種のスタッフが目的と情報を共有し、連携・補完し合い的確な医療を提供します

◆地域のために…………… For Community

- **地域包括ケア**
保健・医療・介護・福祉・地域生活の連携をはかります
- **社会還元・SDGsの実践**
健全経営を維持し、その成果を社会に還元してSDGsを推進します
- **「医療の谷間」解消**
地域における「医療の谷間」の解消への努力をします

◆職員さんのために…………… For Staff

- **教育・福利厚生**
人材は「人財」と考え、教育・福利厚生を積極的に行います
- **働きがいのある職場**
一人ひとりの自己実現・自己成長を支援し、働きがいのある職場風土を育みます
- **健康維持活動**
職員の健康を守るために活動します

関連法人

社会福祉法人 寿量会

【開設年月日】 平成2年4月19日
【管 理 者】 理 事 長：米満 淑恵

特別養護老人ホーム天寿園
特別養護老人ホーム天寿園青葉（地域密着型特養）
特別養護老人ホーム天寿園NeO（地域密着型特養）
指定居宅サービス事業所
天寿園ショートステイ「ふれんど」
天寿園デイサービスセンター
ホームヘルプサービスステーション天寿園
グループホーム虹の家、虹の家デイサービスセンター
デイサービス今町ホーム
小規模多機能型居宅介護事業所銀座通りハウス
天寿園在宅サービスセンター（居宅介護支援）
ケアハウス宝光庵
受託事業：熊本市南5地域包括支援センターささえりあ天明



特定非営利活動法人（NPO法人） 熊本県骨バンク協会（事務局）

【開設年月日】 平成17年6月8日
【管 理 者】 理 事 長：宮本 健史
組織管理者：中根 惟武

【基本理念】
熊本県骨バンク協会は、同種骨移植術を要する人々に対し、安心・安全な同種骨を安定的に供給し、人々の健康及び移植医療の発展に寄与します

NPO法人（特定非営利活動法人） ジ・アース「かぼちゃの家」

【開設年月日】 平成18年8月8日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
施 設 長：東 明美

【基本理念】
障がい者を中心に高齢者や子育てに渡る、広範な人に対するサービスを提供することで、相互のつながりを深めコミュニティ形成を促進することにより、地域社会の公益に寄与することを目的とする

NPO法人（特定非営利活動法人） 健康と幸せの会

【開設年月日】 平成21年10月22日
【管 理 者】 理 事 長：西 哲司
副理事長：米満 弘之

【基本理念】
熊本市北部地域を中心とした市民全般に対して、健康を幅広く捉え、医療・保健・福祉、文化面に至るまでの各分野の専門家による講演会開催事業を行い、市民のより健康で幸せな生活づくりに寄与することを目的とする

特定非営利活動法人（NPO法人） ソーシャルインクルージョン研究センター

【開設年月日】 平成24年6月1日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
センター長：若本 隆治

【基本理念】
社会や家族から独立し排除、差別されている人々（障がい者・高齢者・刑余者・貧困層等）に対して健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支えあうための社会福祉の実現に寄与することを目的とする

NPO法人（特定非営利活動法人） 熊本高齢社会活性化研究センター

【開設年月日】 平成26年10月2日
【管 理 者】 理 事 長：米満 弘之
センター長：二塚 信

【基本理念】
超高齢社会の到来が目前に迫る今日、介護や療養を必要としない高齢者を増加するための方法、健康な高齢者の就労支援の方法、地域包括ケアのなかでの活動の方法等を探究し、健康寿命の延伸や社会参加を通して、健やかで生き甲斐のある高齢社会の実現に寄与することを目的とする



理事長挨拶

進化する覚悟

社会医療法人 寿量会 理事長 米満 弘一郎

2019年度の年報がここにできあがりしました。2019年には想像できなかった現実が2020年に起こってしまいました。今この文章を書いている2020年6月30日に、2020年の年の瀬がどんな世の中になっているのか想像ができません。しかしこんな状況だからこそ私たちは、医療、介護を通じて「進化する覚悟」を持たなくてはならないと思います。私たちは世の中に明るい希望を持ち続け、傷ついた人々を癒す存在でありたいと思います。来るべき2021年に向けて、2019年をしっかりと振り返り、2020年をしっかりと生き抜き、進化を続けましょう。「進化する覚悟」こそ、私たちの未来を切り開く大切な覚悟であると思います。困難な状況こそ進化するチャンスであります。チーム一丸となって、私たちが求めている人々とともに歩みましょう。



院長挨拶

コロナウィルスに対する対応しながら、今後の対策を

熊本機能病院 院長 中島 英親

昨年度【2019年（令和元年）】は、ようやく平成28年度の熊本地震から先延ばしになっていた、古い病棟解体が本格化したところでした。2020年（令和2年）になり新型コロナウイルスが発生し、感染の拡大に関して政府より緊急事態宣言がなされ、密接、密集、密閉の回避、マスク着用が義務付けられ、外に出られなくなり、全世界が多数の死亡者、多数の感染患者が出てパニックとなりました。この先は、コロナウィルスワクチン、ウィルスを制御する薬ができないとこの状況をおさめることはできないと思われれます。来年の東京オリンピック開催も危ういのではないのでしょうか。

当院は日本医療機能評価機構の更新受審を2月の初旬に受けることができ、無事に認定をいただきました。あと少し予定が遅かったら、スタッフ全員で取り組んだ準備も延期になっていたと思います。現に、2月以降は様々な予定を中止せざるを得ない状況となりました。

医療の根幹をなす安全に関しては、医療安全管理、院内感染管理、医療機器安全管理が重要であり、週・月単位にて、事象原因の追究をし、記録を分析して質の高い医療安全体制の構築に努めています。また、健全な経営を目指し、バランス・スコアカードを平成28年から導入しており、今年で4年目となりました。継続することで理解が深まり、内容も良くなってきました。

これからの数年間は新たな対応が求められますが、しっかりと対策を練り、病院の基本方針である医療の質の向上、医療安全の確保、医療経営の安定した発展への取り組みを継続してまいります。

論文表彰

No.	名前	主催名	表彰	題名
1	麻酔科 采田千穂 矢野敏之、今泉隆志 中山良輔、川本和彦	日本麻酔科学会 第66回 学術集会	優秀演題	健康成人において経口補水液への増粘剤添加が超音波計測に基づく胃排出時間に及ぼす影響
2	作業療法課 菅原歩美 森由紀子、今田吉彦 内野康一、宮崎虹歩	第1回 九州作業療法学会	優秀演題賞	脳卒中片麻痺上肢の痙縮筋に対してパンケーキ型継手式手関節装具を用いた振動刺激療法と課題指向型練習を併用した上肢集中アプローチの試み
3	麻酔科 矢野敏之、今泉隆志	九州麻酔科学会 第57回大会	優秀演題	人工膝関節全置換術における関節周囲ステロイド局所浸潤の術後嘔気嘔吐へ副次効果

表彰

第10回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 実行委員会特別賞



熊本日日新聞 令和2年5月2日掲載

受賞時コメント

社会医療法人寿量会
理事長 米満 弘一郎

この度は大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。

当法人は1981年設立当初からソーシャルインクルージョンの構築・QOLとノーマライゼーションの向上のための活動を持続し続け、その歩みは【患者さんのために】【地域のために】【職員のために】関わるすべての「人」を大切にするために切磋琢磨する39年でありました。

今後も益々「人」と向き合い深く考えていく医療・介護・福祉サービスを提供しながら、患者さんや職員さんお一人おひとりに寄り添った柔軟性と独自性を持って多くの方々の幸せを生む組織を形成するべく、法人運営に努めてまいります。

Manthly Most Valuable Team

2019年度 月間MVT受賞チーム

平成25年度より継続して、法人内における様々な活動を取り上げ、表彰する「月間MVT表彰」を行っています。

各種表彰や資格取得など、対外的に評価されるものに限らず、法人内におけるサービス向上を目的とした取り組み、その他のボランティア活動やサークル活動まで、幅広く対象としています。

毎月の受賞チームは、各部署からの推薦を受け、幹部会議で決定されます。

表彰を行うことで、普段関わることの少ない部署の取り組みや努力を知る機会を作ることを目的としており、受賞チームにはチームの集合写真を収めた記念カードが授与されます。

親御さんにやさしいプロジェクトチーム



薬剤部チーム



総合リハビリテーション部チーム



洗濯室チーム



放射線部チーム



糖尿病教室チーム



医療安全・転倒予防ワーキンググループチーム



LEOCチーム



表彰月	チーム名	主な表彰理由
5月	親御さんにやさしいプロジェクトチーム	小さな患者さんに安心して気持ちの良い入院生活を送っていただけるよう、またご家族の負担を少しでも軽減できるようサポートしている
6月	薬剤部チーム	病院薬剤師業務の発展並びに質の向上等に貢献する優れた内容と認められ、熊本県病院薬剤師会優秀論文賞を連続受賞した
7月	禁煙外来チーム	禁煙に対する取り組みが評価され、多くの講演を行っている
8月	総合リハビリテーション部チーム	リハビリテーション業務の発展並びに質の向上等に貢献する優れた論文を執筆し、各学会において新人賞・優秀論文賞を受賞した
9月	洗濯室チーム【大森産業 様】	日々懸命に洗濯業務にあたり、患者さん、職員が清潔な衣服を気持ちよく着用することができる
10月	放射線部チーム	毎月、院内ポータルサイトに「DIAGNOSTIC IMAGING」の掲載を行い、職員の知識向上のために尽力している
11月	糖尿病教室チーム	多職種で構成され、患者さんへの糖尿病予防法などをわかりやすく継続的に情報提供し、サポートしている
12月	医療安全・転倒予防ワーキンググループチーム	継続的に転倒予防への取り組みをチームで行い、環境改善、スタッフ教育に力を注いでいる
2月	LEOCチーム【LEOC 様】	多くの制限がある中で日々試行錯誤し、患者さんに美味しい食事を提供できており、病棟への運搬・配膳にも尽力している

※都合により、4月、1月、3月の表彰はありません。

2019年度の主な活動

月 日	内 容	月 日	内 容
4月1日	2019年度 寿量グループ入社式 「耳鼻咽喉科」「消化器外科」開設	9月7日	救急の日
4月6日	なないろ森の保育園 入園式	10月18日	九州厚生局適時調査
6月5日	香港大学・コンケン大学（タイ）施設見学	11月2日	JURYO FESTA 2019
6月15日	第13回メディカルフィットネスセミナー （熊本健康・体づくりセンター）	11月8日	第26回九州マイクロサージャリー ワークショップ
6月29日	第5回ICLSコース講習会	11月29日	消防訓練（清雅苑昼間想定総合訓練） 消防訓練（VR消火訓練）
7月2日	大邱保健大学（韓国）施設見学	12月1日	「医療法人社団」→「社会医療法人」法人格変更
7月4日	第39回救急医療勉強会 順元郷大学（韓国）施設見学	12月12日	第40回救急医療勉強会
7月13日	第13回KEMAT （Kumamoto Emergency Medical Assessment and Triage）コース開催	1月15日	温州医科大学（中国）
7月29日	旧本館解体工事 本格化	1月25日	九州昭和大学形成外科同門会学術集会（担当）
8月3日	第42回火の国まつり おてもやん総おどり参加	2月5日 ～6日	医療機能評価 本体機能訪問審査 受審 （3rdG:Ver2.0一般病棟2/ 副機能リハビリテーション病院）
9月6日	次世代リーダー育成を目的とした「令和塾」 スタート	2月7日	医療機能評価 高度専門機能審査 受審 （リハビリテーション（回復期）Ver1.0）
		3月28日	なないろ森の保育園 卒園式

公益財団法人 日本医療機能評価機構 5回目の連続更新認定を受けました。 （3rdG : Ver.2.0）

2000年4月に初回認定を受けて以来、5回目の連続認定となります。当院は、急性期医療とリハビリテーション医療を実施しておりますので、主たる機能+副機能をベースに昨年10月に導入された「高度・専門機能（リハビリテーション/回復期）」も受審いたしました。今後も、患者さんに安心していただける病院づくりに努めてまいります。



該当評価項目数	（達成度） S（秀でている）	18項目
108（一般病棟2/リハビリテーション病院）	A（適切に行われている）	90項目
	B（一定の水準に達している）	なし

平成31年度（2019）医療実績

診療科別患者数・紹介率

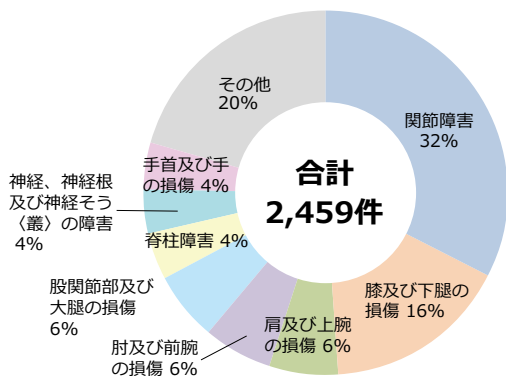
	外来（人）			入院（人）		紹介率（%） （救急車含）
	新患	再診	1日平均	年合計	1日平均	
整形外科	11,840	54,258	227	2,451	196	18.1
形成外科・小児形成外科	1,318	8,263	33	422	12	44.7
脳神経内科 リハビリテーション科・内科	2,234	14,683	84	677	107	62.2
循環器内科	554	11,661	42	299	15	76.8
血管外科	222	1,745	10	103	3	30.7
脳神経外科	180	3,980	21	192	10	49.4
リウマチ科	12	1,412	8	8	-	8.3
救急科・外科	929	3,440	15	288	29	49
皮膚科	121	734	17	2	-	9.8
消化器外科	248	260	3	10	-	4.6
耳鼻咽喉科	81	248	2	1	-	21.2
合計	17,739	100,684	462	4,453	380	25.9

病棟種別 入院・退院経路

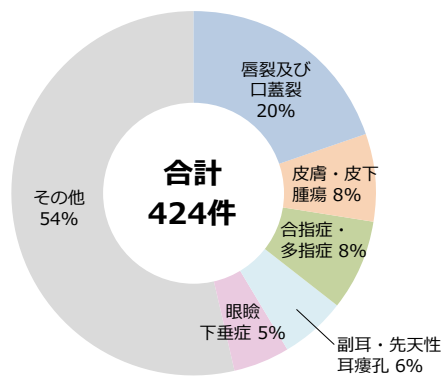
入院の経路	入院病棟				
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション病棟	障害者施設等一般病棟	総計
外来より	2,938	21	23	90	3,072
救急外来より	636	4	2	9	651
転院	154	111	391	17	673
清雅苑より	11	0	0	1	12
その他の老健や施設より	44	0	0	1	45
統計	3,783	136	416	118	4,453
退院の経路	退院病棟				
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハビリテーション病棟	障害者施設等一般病棟	総計
在宅（外来-当院）	2,515	594	566	120	3,795
在宅（外来-他院）	89	53	87	6	235
転院	116	17	79	9	221
施設入所	55	24	88	5	172
死亡	26	1	1	2	30
統計	2,801	689	821	142	4,453

入院病名統計

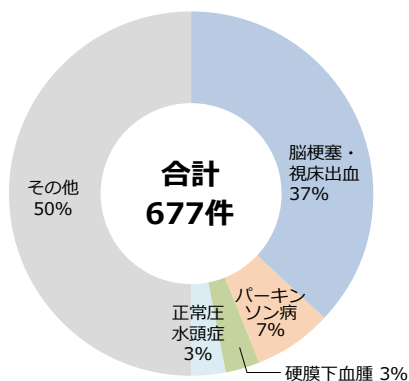
整形外科・リウマチ科



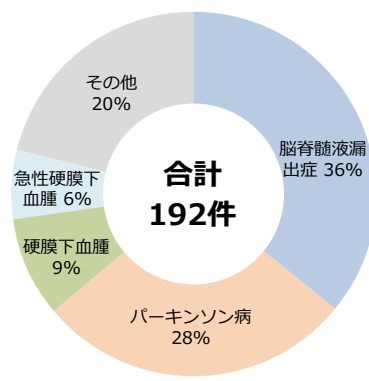
形成外科・小児形成外科・皮膚科



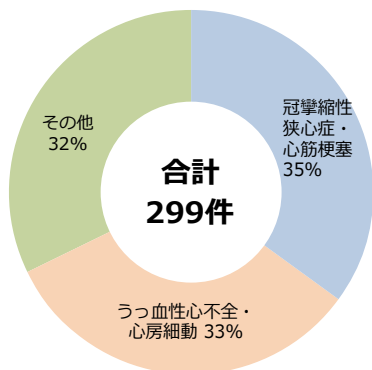
脳神経内科・リハビリテーション科・内科



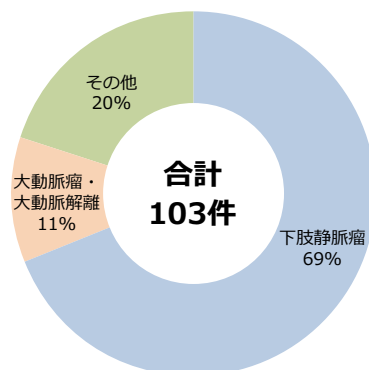
脳神経外科



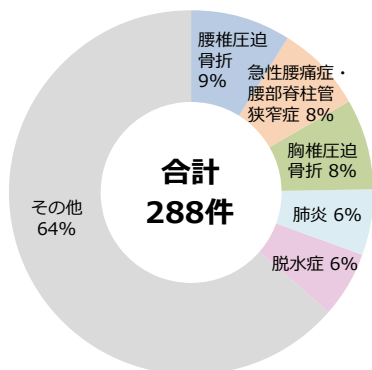
循環器内科



血管外科



救急科



入院時 紹介元施設 患者割合 (上位30位)

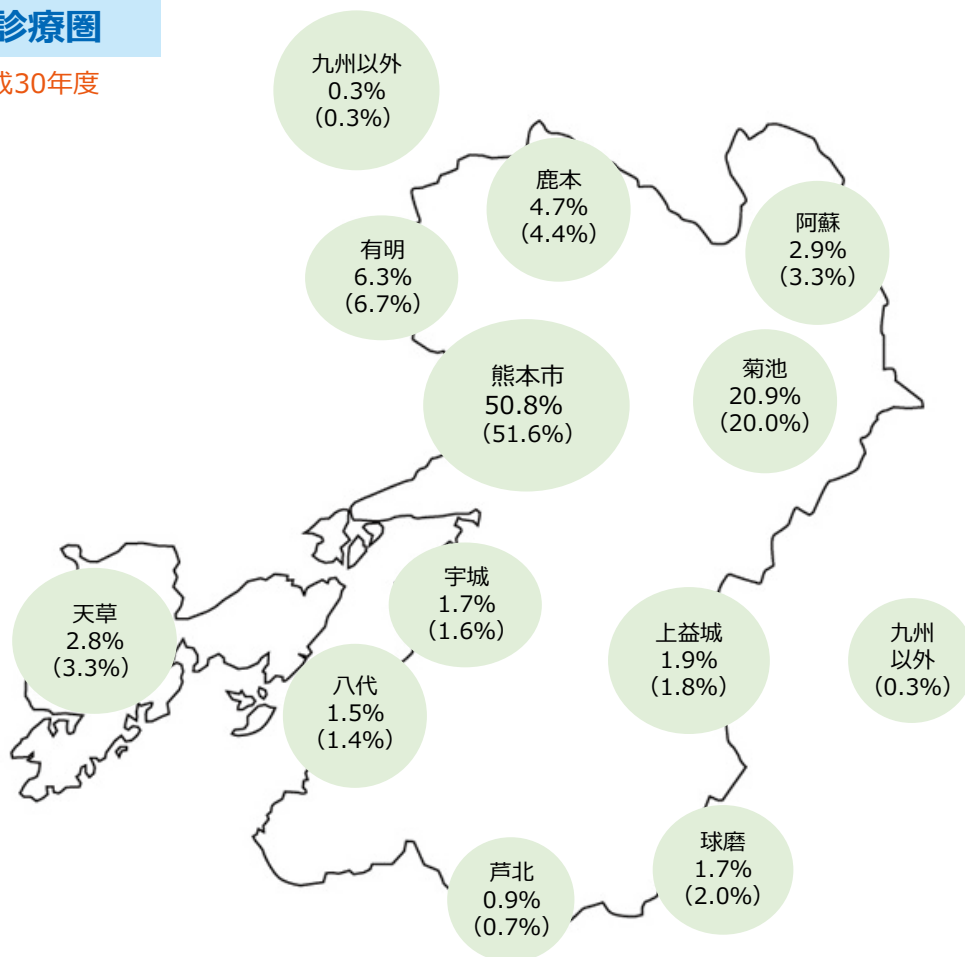
	医療機関	患者数	H30	R1
1	国立病院機構熊本医療センター	205	13.5%	14.2%
2	熊本赤十字病院	173	10.9%	12.0%
3	熊本未来クリニック	78	7.3%	5.4%
4	済生会熊本病院	68	4.1%	4.7%
5	熊本大学病院	56	3.4%	3.9%
6	たぐち整形外科クリニック	26	2.9%	1.8%
7	熊本中央病院	22	1.2%	1.5%
8	福田病院 (産婦人科)	20	1.2%	1.4%
9	なかがわ整形	18	1.4%	1.3%
10	熊本整形外科病院	17	1.5%	1.2%
11	佐賀大学医学部付属病院	17	0.9%	1.2%
12	森田整形外科医院	14	0.8%	1.0%
13	清雅苑	12	0.8%	0.8%
14	藤原クリニック	12	0.2%	0.8%
15	熊本セントラル病院	11	0.7%	0.8%
16	菊南病院	10	0.7%	0.7%
17	松元整形・外科	10	0.6%	0.7%
18	アラキ整形外科	9	0.5%	0.6%
19	岡本外科医院	9	0.2%	0.6%
20	川口病院	9	0.2%	0.6%
21	中村整形外科	9	0.2%	0.6%
22	せんだメディカルクリニック	8	0.3%	0.6%
23	大林新地クリニック	8	0.3%	0.6%
24	あそうだ整形外科クリニック	7	0.1%	0.5%
25	熊本リハビリテーション病院	7	0.3%	0.5%
26	城間整形外科	7	0.3%	0.5%
27	鶴上整形外科リウマチ科	7	0.3%	0.5%
28	天野整形外科皮膚科医院	7	0.3%	0.5%
29	くまもと森都総合病院	6	0.1%	0.4%
30	岩本整形外科	6	0.1%	0.4%

退院時 紹介先施設 患者割合 (上位30位)

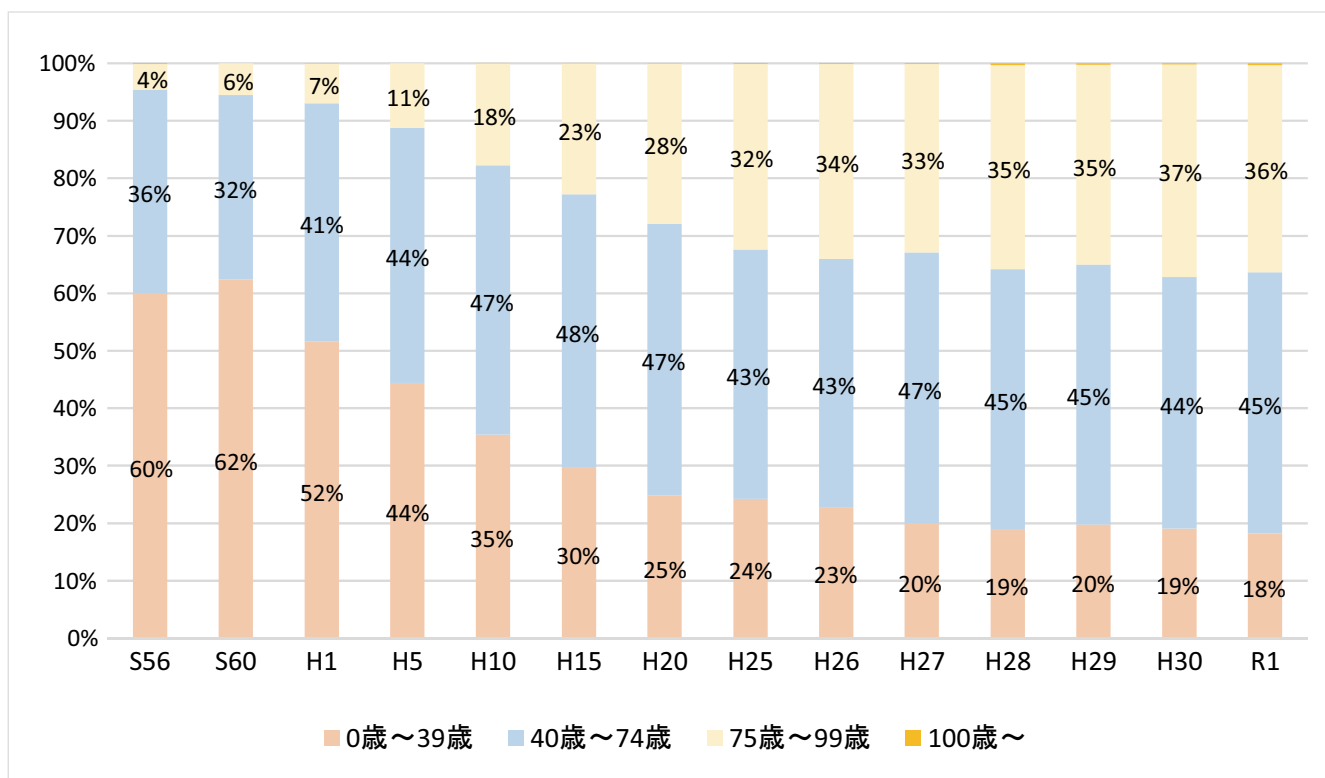
	医療機関	患者数	H30	R1
1	国立病院機構熊本医療センター	45	9.0%	8.9%
2	清雅苑	44	5.8%	8.7%
3	熊本赤十字病院	30	4.7%	5.9%
4	熊本大学病院	18	1.1%	3.6%
5	済生会熊本病院	9	2.2%	1.8%
6	菊南病院	8	2.5%	1.6%
7	くまもと成城病院	7	2.0%	1.4%
8	熊本中央病院	7	1.3%	1.4%
9	八景水谷クリニック	7	0.7%	1.4%
10	みつぐ苑	6	0.4%	1.2%
11	桜の里	6	2.0%	1.2%
12	中山記念病院	6	1.3%	1.2%
13	天寿園	6	0.7%	1.2%
14	合志第一病院	5	1.3%	1.0%
15	桜十字病院	5	1.3%	1.0%
16	田上病院	5	0.9%	1.0%
17	かなこぎ苑	4	0.5%	0.8%
18	くわのみ荘	4	0.4%	0.8%
19	むべの里	4	0.2%	0.8%
20	阿蘇温泉病院	4	1.1%	0.8%
21	元気な家ひまわり	4	0.2%	0.8%
22	聖心病院	4	0.5%	0.8%
23	青磁野リハビリテーション病院	4	1.3%	0.8%
24	大林新地クリニック	4	0.4%	0.8%
25	表参道吉田病院	4	0.9%	0.8%
26	北部病院	4	1.1%	0.8%
27	きくちの里	3	-	0.6%
28	よもぎクリニック	3	0.4%	0.6%
29	ロイヤルレジデンス熊本飛田	3	0.5%	0.6%
30	菊池都市医師会立病院	3	0.4%	0.6%

入院患者診療圏

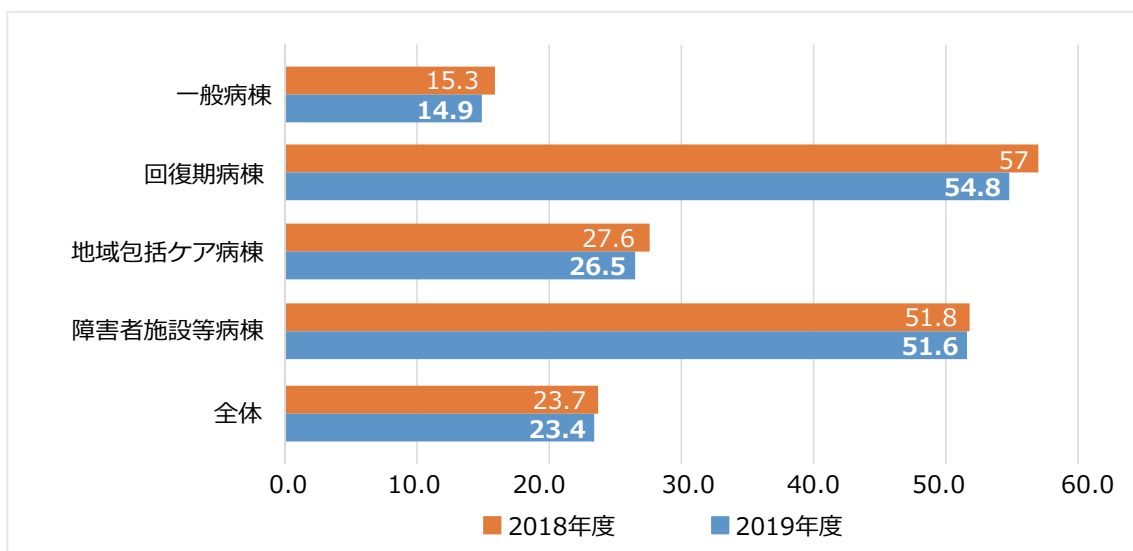
() 内は平成30年度



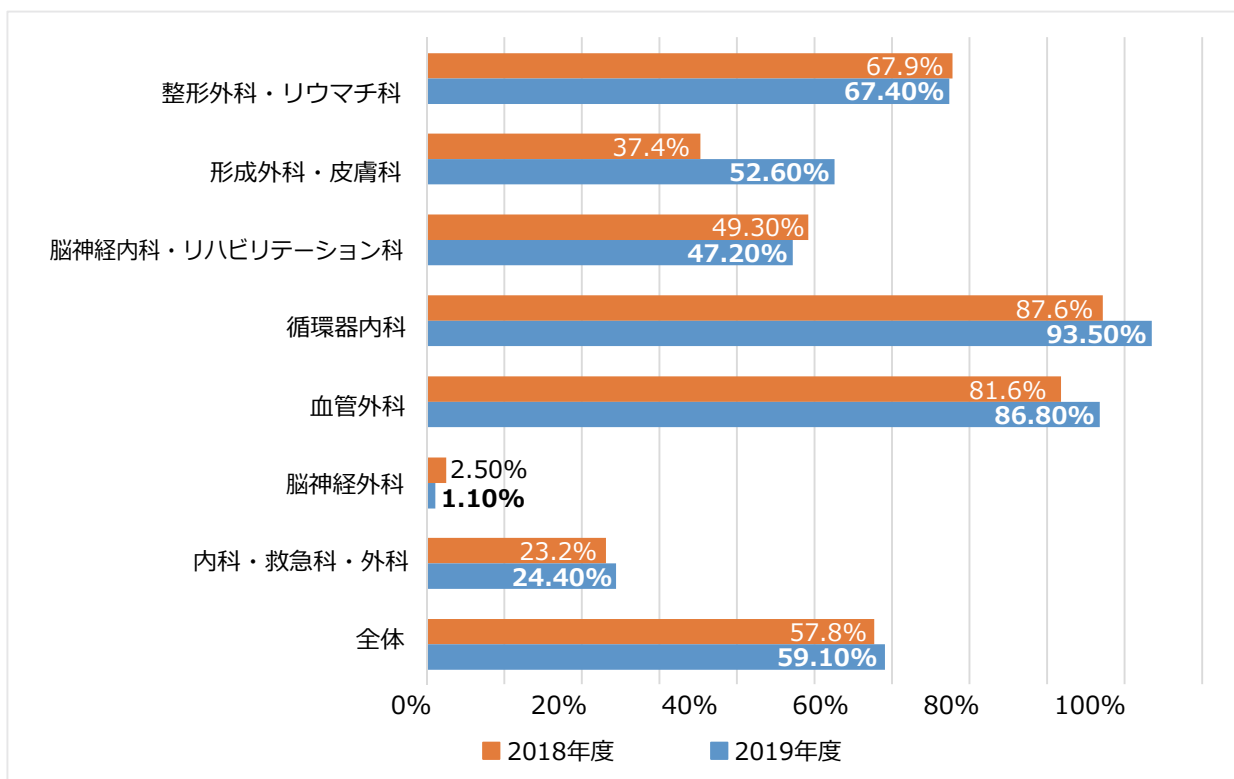
年度別 入院患者年齢層



平均在棟日数

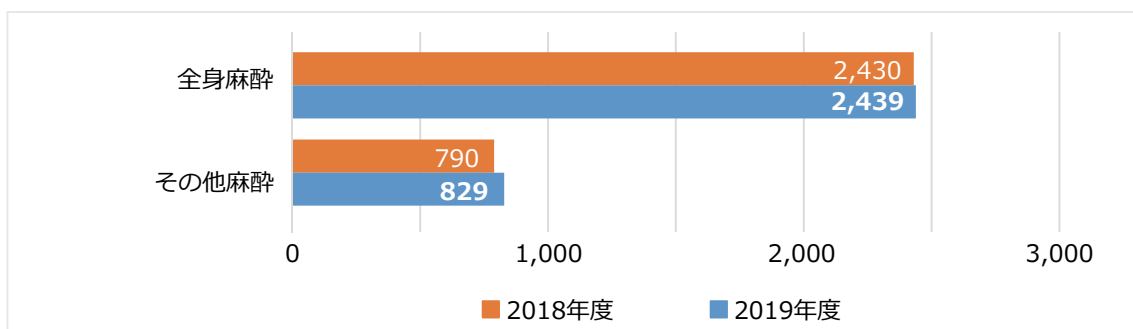


クリニカルパス運用率

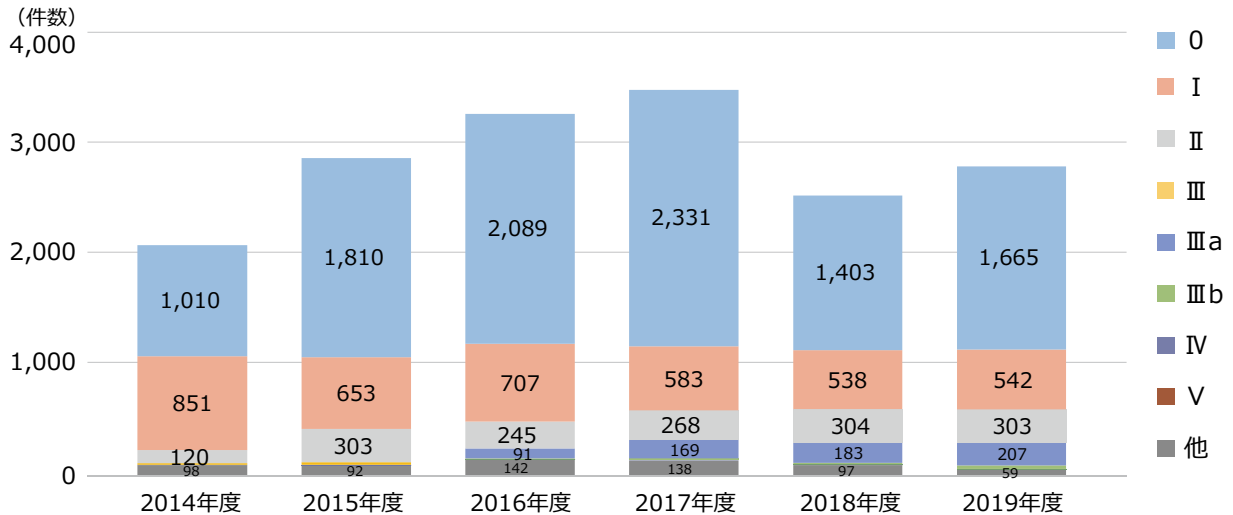


手術件数

※手術件数の詳細は各科にて記載



インシデント・アクシデント報告状況



インシデント及びアクシデントの分類

分類	患者への影響度 (事故区分)	内 容
インシデント	レベル0 (ヒヤリハット)	仮に実施されていても患者への影響は小さかった（処置不要） 仮に実施されていた場合患者への影響は中等度（処置が必要） 仮に実施されていた場合患者への影響は大きい（生命に影響しうる）
	レベルI	実施されたが、患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
	レベルII	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
アクシデント	レベルIIIa	簡単な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
	レベルIIIb	濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	レベルIV	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	レベルV	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
その他		患者が関わらない事例

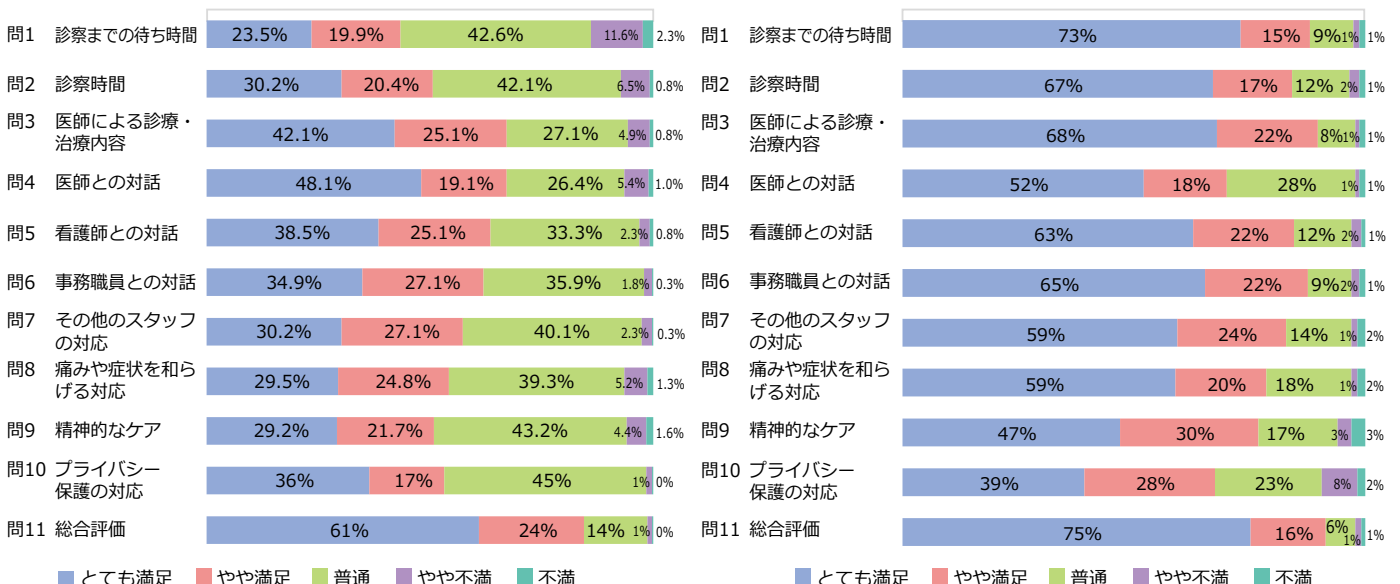
患者満足度調査

外来部門

実施日：2019年11月1日～11月30日
患者数：387名

入院部門

調査期間：2019年11月1日～11月30日
調査人数：234名



整形外科

専門性を活かして診療に取り組む

整形外科では、外傷から変性疾患まで、幅広い症例に対応しています。

特に人工股関節・膝関節、関節鏡を用いた手根管開放術、神経縫合を含むマイクロサージャリーなど専門性を生かした手術に取り組んでいます。また、救急外傷（指切断、開放骨折、大腿骨頸部骨折、圧迫骨折、神経損傷）の患者さんへの対応にも力をいれています。

手術後もリハビリテーションを早期から開始し、チーム体制で退院後の患者さんのQOL（生活の質）向上に努めます。



手術実績（上肢）

手術名	H30	R1
手根管開放術（直視下・鏡視下）	145	161
骨接合術 （橈骨遠位端・上腕骨近位端・肘関節周囲骨折）	136	122
腱鞘開放術	160	166
マイクロサージャリー（神経・血管）・再接着	24	17
肩関節鏡視下手術	31	31
肘部管開放術	20	23
肘・手関節鏡視下手術	7	4
その他	434	428
合計	957	952

手術実績（下肢）

手術名	H30	R1
人工膝関節置換術	320	378
人工股関節置換術	263	248
膝関節鏡視下手術（半月板部分切除 含）	220	219
骨接合術（大腿骨転子部・大腿骨頸部）	108	116
人工骨頭置換術（大腿骨頸部骨折）	61	50
膝前十字靭帯再建術	55	46
人工股関節再置換術	12	9
人工膝関節再置換術	3	3
その他	330	337
合計	1,372	1,406



手術実績（脊椎）

手術名	H30	R1
脊椎固定術	21	14
椎間板摘出術	7	12
椎弓形成術	11	12
椎弓切除術	10	7
その他	3	4
合計	52	49

当院では人工股関節置換術、人工膝関節置換術で手術支援ロボットが使用可能です



2020年1月7日よりロボティックアーム「MAKO®」を導入しています。【熊本県初、九州2例目】

●ロボティックアームとは

コンピュータ制御された「機械の腕（アーム）」のことで、自動で動くものや人が操作して動かすものなどがあります。

ロボティックアーム「Mako®」は医師が操作して動かすもので、傷んでいる骨を切除したり、人工関節の精確な設置をサポートします。

●ロボティックアームの利点は？

「ぶれることがない」「正確に動く」「止まる」です。人工関節置換術で使用すると、事前に計画した通りに手術器具を移動することができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能になります。

ロボティックアームは少しでも計画から外れた動きをすると停止します。身近なものに例えると、車の自動ブレーキのようなもので、治療計画にない動き、つまり、削ったり切除する必要のない部位にさしかかると停止する仕組みになっています。

ナビケーションシステムと合わせて使用することで、治療計画通りの安全かつ正確な手術を可能にします。



医師



名誉院長・診療統括顧問

中根 惟武 (昭和45年卒)

専門分野 股関節・膝関節外科
(人工関節・関節鏡視下手術)
老人骨折・骨粗鬆症

資格・学会等

特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
日本整形外科学会 [専門医]
日本人工関節学会 [認定医]
日本リハビリテーション医学会 [認定臨床医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



院長・切断指肢再接着センター長

中島 英親 (昭和46年卒)

専門分野 整形外科・形成外科・手外科
スポーツ外傷
マイクロサージャリー分野

資格・学会等

日本マイクロサージャリー学会 [名誉会員]
日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]
日本形成外科学会 [専門医]
日本手外科学会 [特別会員/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



高橋 修一郎 (昭和50年卒)

専門分野 膝関節外科

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]



名誉副院長

重本 弘文 (昭和46年卒)

専門分野 リハビリテーション科
整形外科

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
日本整形外科学会 [専門医]
臨床義肢装具適合判定講習修了医
回復期専従医講習修了医



副院長・診療統括部長

寺本 憲市郎 (平成3年卒)

専門分野 手外科
機能再建外科
(マイクロサージャリーを含む)

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医]
日本手外科学会 [代議員/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



理事長補佐・人工関節センター長
臨床研究推進センター臨床研究支援室 室長

高橋 知幹 (平成9年卒)

専門分野 股関節・膝関節外科
人工関節置換術
骨切り術
関節鏡手術

資格・学会等

日本整形外科学会 [専門医]
日本人工関節学会 [認定医]
日本組織移植学会 [認定医]
特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
指定難病医療費助成制度 [指定医]



関節外科部門長・骨粗しょう症センター長

清田 克彦 (平成7年卒)

専門分野 膝関節・股関節外科
運動器疼痛
骨粗鬆症

資格・学会等

特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会運営
委員会 個人情報管理責任者
日本整形外科学会 [専門医]
日本骨粗鬆症学会 [認定医]
日本組織移植学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]

医師



長井 卓志 (昭和60年卒)

専門分野 整形外科・手外科・スポーツ外傷
マイクロサージャリー分野

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医/認定スポーツ医]



久保田 晃志 (平成4年卒)

専門分野 関節外科
膝関節・股関節外科

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



高井 聖子 (平成17年卒)

専門分野 整形外科
リハビリテーション

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
日本骨粗鬆症学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



高井 浩和 (平成19年卒)

専門分野 人工関節 (膝関節・股関節)
四肢外傷 (骨折など)

資格・学会等 日本整形外科学会
[専門医/認定スポーツ医/認定リウマチ医]
日本骨粗鬆症学会 [認定医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



宮地 有理 (平成11年卒)

専門分野 整形外科

資格・学会等 日本整形外科学会 [専門医]
日本形成外科学会 [専門医]
麻酔科標榜医



北島 雄人 (平成26年卒)

専門分野 整形外科

整形外科 非常勤医師

酒井 和裕

所属

健和会大手町病院

田口 学

所属

たぐち整形外科クリニック

米満 龍史

所属

熊本大学病院

松元 敬

所属

松元整形・外科

杉本 一樹

所属

熊本大学病院

形成外科・小児形成外科

機能だけでなく、見た目もより良い状態に

小児形成外科では「口唇口蓋裂」や「多指症等の先天性疾患」といった疾患に対して、地域の産婦人科、小児科、皮膚科、整形外科等との診療連携を大切にし、早期からの適切な治療を心がけています。

小児領域の治療を行う一方で、加齢に伴う眼瞼下垂症の手術症例が増加しており、形成外科での治療によって、外見の改善だけでなく、術後に「視野が広がった」「肩こりが消失した」などの声が聴かれています。



手術実績

手術名	H30	R1
皮膚皮下腫瘍摘出術	307	368
口唇口蓋裂形成術	116	95
多指（趾）症、合指（趾）症手術	34	35
眼瞼下垂症手術	24	30
瘢痕（拘縮）形成術	14	9
顔面骨骨折手術	19	18
副耳（介）切除術	15	22
先天性耳瘻管摘出術	7	15
褥瘡、難治性皮膚潰瘍の手術	28	14
耳介形成術	8	5
腋臭症手術（皮弁法）	13	5
その他	37	43
合計	622	659

1日平均 外来患者数

33人

(うち初診 5人)

1日平均 入院患者数

12人

手術件数

659件

医師



副院長・国際唇裂口蓋裂センター長
小園 喜久夫 (昭和51年卒)

昭和大学医学部形成外科 兼任講師
中国広西医科大学 客員教授

専門分野 形成外科
小児形成外科
美容外科

資格・学会等 日本形成外科 [専門医/小児形成外科
分野指導医/皮膚腫瘍外科指導医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]
日本口蓋裂学会 [認定師]



田邊 毅 (平成10年卒)

専門分野 先天異常・マイクロサージャリー
口唇口蓋裂

資格・学会等 日本形成外科
[評議員/専門医/小児形成外科分野指導
医/皮膚腫瘍外科指導専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



中西 いずみ (平成21年卒)

専門分野 形成外科一般
手指の先天異常
足潰瘍の治療
爪疾患



坂本 佳奈 (平成24年卒)

専門分野 形成外科一般



水谷 望 (平成26年卒)

専門分野 形成外科一般

小児科 非常勤医師

小管 浩史

2020年4月1日より小児発達外来を
開設いたしました。(完全予約制)

皮膚科

皮膚病理診断を治療に活かす

当院の顧問も務める皮膚科の小野医師は、日本皮膚病理組織学会の理事長、日本皮膚科学会の理事などを務めた経験もあり、治療方針や効果を確認するための皮膚病理診断を実際の治療に活かした診療を行います。



担当医師より

皮膚科の診療には殊の外、患者さんの日常生活の中に原因があることが少なくありません。

外来では、患者さんとお話しをさせていただき、患者さんと一緒に皮膚病の原因探しをしていきたいと考えております。

美容部門

●脱毛には



メディオスターNeXT PRO
ダイオードレーザー脱毛機

●シミ・そばかす・くすみには



ライムライト
IPL光治療

●ハリを失った肌の改善
(若返り)には



PRX-T33
コラーゲンピール

●肝斑、色素沈着の改善には



リバースピール

●肝斑・ニキビなどには
イオン導入



スーパービタミン

●ニキビ跡、毛穴、小じわ、たるみ等には



マイクロニードリング
ダーマペン

診療時間：月曜・水曜・木曜 13:00~17:00 (最終受付15:30) 完全予約制 担当医：米満 文

医師



熊本機能病院 顧問
小野 友道 (昭和41年卒)

専門分野 皮膚科

熊本大学 顧問・名誉教授
熊本保健科学大学 名誉教授

資格・学会等

日本皮膚科学会 [名誉会員/専門医]



米満 文 (平成18年卒)

専門分野 皮膚科一般
美容皮膚科

急性期から在宅復帰まで一貫したサポート

脳神経内科では、たとえば、身体にしびれを感じたり、めまいがしたり、うまく力がはまらない、歩きにくいなどの症状に対し、障害が起きている部位や原因を特定し、治療を行います。

当院では脳神経内科と共にリハビリテーション科として、リハビリテーション専門医がリハビリスタッフ等と連携し、患者さんが当院にいらっしてからご自宅に帰られるまで、患者さんの状態に合わせたより適切なリハビリテーションの提供を行っています。



1日平均 外来患者数
84人

1日平均 入院患者数
107人

医師

リハビリテーション科



介護老人保健施設清雅苑 施設長・地域ケア支援センター センター長

山永 裕明 (昭和51年卒)

専門分野 脳神経内科
リハビリテーション医学

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医/指導医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



副院長

中西 亮二 (昭和54年卒)

専門分野 リハビリテーション医学
臨床神経生理学

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[指導医/専門医/認定臨床医]
日本臨床神経生理学会 [指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



臨床研究推進センター センター長

木原 薫 (昭和55年卒)

専門分野 脳卒中
リハビリテーション

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]

脳神経内科



副院長

総合リハビリテーションセンター センター長

渡邊 進 (昭和57年卒) 熊本大学医学部医学科 臨床教授 (脳神経内科)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会 [指導医/専門医]
日本神経学会 [指導医/専門医]
日本脳卒中学会 [専門医/評議員]
日本内科学会 [認定医]
日本転倒予防医学会 [評議員]
指定難病医療費助成制度 [指定医]
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 理事

医師

脳神経内科



総合リハビリテーションセンター 副センター長

徳永 誠 (昭和63年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等 日本リハビリテーション医学会
〔代議員/指導医/専門医/九州地方会幹事〕
日本神経学会〔指導医/専門医〕
日本脳卒中学会〔専門医〕
日本内科学会〔認定医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕



桂 賢一 (平成10年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

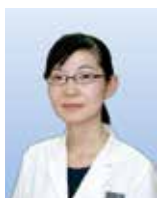
資格・学会等 日本内科学会〔認定医〕
日本リハビリテーション医学会
〔指導医/専門医/認定臨床医〕
日本神経学会〔指導医/専門医〕
日本脳卒中学会〔専門医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕



時里 香 (平成11年卒)

専門分野 脳神経内科
リハビリテーション

資格・学会等 日本内科学会〔認定医〕
日本リハビリテーション医学会
〔専門医/認定臨床医〕
日本神経学会〔専門医〕
日本摂食嚥下リハビリテーション学会〔認定士〕
日本医師会認定産業医
指定難病医療費助成制度〔指定医〕



神経生理センター長

宮本 詩子 (平成15年卒)

専門分野 脳神経内科
臨床神経生理学

資格・学会等 日本内科学会〔認定医〕
日本神経学会〔指導医/専門医〕
日本臨床神経生理学会〔指導医/専門医〕
日本リハビリテーション医学会〔認定医/専門医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕



中西 俊人 (平成21年卒)

専門分野 脳神経内科一般

資格・学会等 日本神経学会〔専門医〕
日本内科学会〔総合内科専門医〕



本田 省二 (平成11年卒)

専門分野 脳卒中
リハビリテーション

資格・学会等 日本内科学会〔認定医〕
日本神経学会〔指導医/専門医〕
日本脳卒中学会〔評議員/専門医〕
日本リハビリテーション医学会〔専門医〕
指定難病医療費助成制度〔指定医〕



伊藤 康幸 (平成13年卒)

専門分野 脳卒中
頭痛

資格・学会等 日本神経学会〔指導医/専門医〕
日本脳卒中学会〔評議員/指導医/専門医〕
日本頭痛学会〔代議員/指導医/専門医〕

脳神経内科 非常勤医師

松永 薫

所属

くまもと温石病院

内科



小川 尚 (昭和39年卒)

専門分野

味覚
脳活動の非侵襲性計測
味覚の客観的検査法の開発

内科 非常勤医師

中西 美智子

所属

水前寺とうや病院

竹迫 雅弘

所属

山鹿中央病院

産業医



二塚 信 (昭和39年卒)

専門分野

公衆衛生学

資格・学会等

日本産業衛生学会 [名誉会員/指導医]

消化器外科

消化器症状はお気軽にご相談ください

胸やけや胃もたれ、下痢や便秘などの胃腸症状のある方、健診後の肝機能障害を指摘された方などの診断と保存的加療を行っています。消化器に関しては、上部内視鏡検査や腹部エコー、腹部CT、MRCPなどの精密検査が可能です。また、専門病院への紹介やセカンドオピニオンなどにも対応しています。



内野 良仁 (昭和54年卒)

専門分野 消化器外科

資格・学会等

日本外科学会 [専門医/指導医]
日本消化器外科学会 [専門医/指導医]
地域包括医療ケア [認定医]

耳鼻咽喉科

「飲み込む」・「話す」・「聞く」を専門的にサポート

脳血管疾患や神経疾患などに伴う嚥下障害に対してリハビリテーション部門と共同で診療にあたっています。患者さんの状態や希望に応じて、嚥下機能改善手術、誤嚥防止術の対応も可能です。また、難聴の患者さんへの補聴器外来も検査やフィッティングができる体制を整えています。



鮫島 靖浩 (昭和56年卒)

専門分野 耳鼻咽喉科

資格・学会等

日本耳鼻咽喉科学会
[専門医/指導医/補聴器専門医]
日本嚥下医学会 [評議員/認定嚥下相談医]
日本アレルギー学会 [専門医/指導医]
日本気管食道科学会 [専門医]

循環器内科

研究結果を臨床に活かしていく

循環器内科では、心筋梗塞、狭心症、心不全、高血圧、メタボリック症候群を中心に幅広く取り組んでおり、救急から精査、予防リハビリを含め、一貫した治療を行っているのが特徴です。

血管外科、形成外科との連携を強め、「総合血管センター」を充実させ、下肢の閉塞性動脈硬化症や静脈血栓症、大動脈疾患などの疾患に対し、より専門的・的確な診療を行える体制を整えています。多くの専門スタッフが連携し、ご自宅に帰られてからの生活までを見据えて診療を提供いたします。



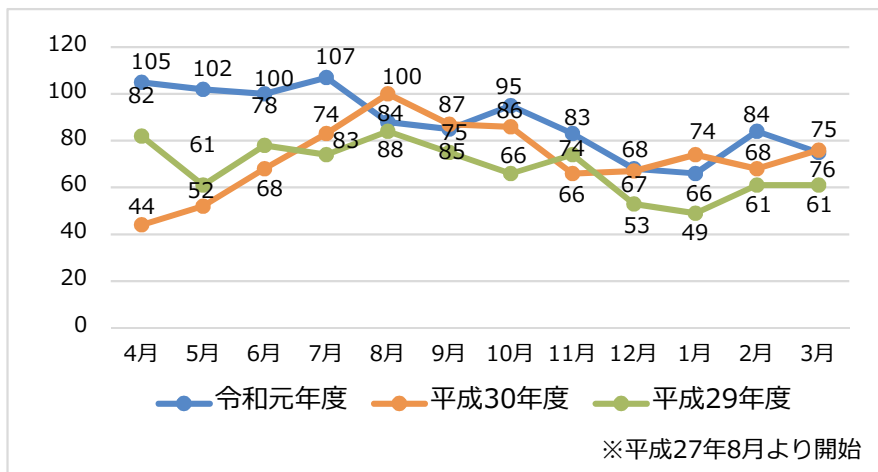
 1日平均 外来患者数 42人	 1日平均 入院患者数 15人	 ペースメーカー手術件数 15件
--	--	---

治療・検査実績

その他 治療・検査実績	H29	H30	R1
心臓カテーテル検査	135	134	128
経皮的冠動脈ステント留置術	14	13	17

外来心臓リハビリテーション実績 (H31年4月～R2年3月)	延人数1,058名 (3,180単位)
-----------------------------------	------------------------

[月別 延患者数]



医師



熊本加齢医学研究所 所長

泰江 弘文 (昭和34年卒)

専門分野

循環器疾患・高血圧・糖尿病
内分泌疾患・肥満・生活習慣病

資格・学会等

日本内科学会 [名誉会員]
日本循環器学会 [特別会員]
日本心血管内分泌代謝学会 [名誉会員]



副院長

水野 雄二 (平成2年卒)

専門分野

心不全・高血圧
冠動脈カテーテル治療・禁煙活動
冠攣縮性狭心症
メタボリック症候群

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]
日本循環器学会 [専門医]
日本高血圧学会 [指導医/専門医]
日本心血管内分泌代謝学会 [評議員]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



熊本健康・体づくりセンター 所長
臨床研究推進センター治験支援室 室長

原田 栄作 (平成4年卒)

専門分野

循環器科

資格・学会等

熊本県ラグビーフットボール協会医務委員
日本内科学会 [認定医]
日本循環器学会 [専門医]
日本体育協会 [公認スポーツドクター]
日本医師会 [認定健康スポーツ医]
熊本県体育協会 [スポーツ医科学専門委員]
指定難病医療費助成制度 [指定医]



釘宮 史仁 (平成13年卒)

専門分野

循環器全般
(心臓カテーテル治療・心臓リハビリ等)

資格・学会等

日本内科学会 [総合内科専門医]
日本循環器学会 [専門医]
日本心血管インターベンション治療学会
[認定医]
日本心臓リハビリテーション学会 [指導士]



石田 俊史 (平成23年卒)

専門分野

循環器疾患

資格・学会等

日本内科学会 [認定医]

循環器内科 非常勤医師

庄野 信

所属

庄野循環器内科医院

血管外科

血管疾患をトータルに管理し、健康をサポート

主に末梢血管疾患（下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患）、静脈血栓塞栓症などを中心に、循環器内科、形成外科とも連携し、診断、治療を行います。また、心臓外科の経緯を生かし、心臓大血管手術の周術期管理も行います。



スーパーバイザー
中島 昌道

手術実績

手術名	H30	R1
下肢静脈瘤手術	82	80
血管内焼灼術	71	76
抜去切除術	11	4
末梢血管吻合術	7	2
その他	7	2
合計	96	84

1日平均 外来患者数
10人

手術件数
85件

医師



萩原 正一郎 (平成2年卒)

専門分野

心臓血管外科全般
(特に末梢血管外科)

資格・学会等

日本外科学会 [専門医/認定医]
日本脈管学会 [専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会 [下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医]

血管外科 非常勤医師

スーパーバイザー

中島 昌道

所属

熊本赤十字病院

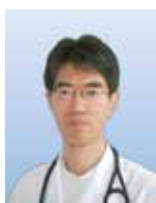
リウマチ科

患者さんの生活に考慮した治療を

リウマチ科では、薬物療法により関節の痛みや腫れを抑える治療をはじめ、整形外科との連携により身体の機能回復に向けて、リハビリテーションを取り入れるなどして、患者さんのQOL（生活の質）を維持できるように努めております。



医師



工藤 博徳 (平成4年卒)

専門分野 リウマチ学・膠原病学・免疫学

資格・学会等 指定難病医療費助成制度 [指定医]

脳神経外科

患者さんの多様なニーズに応えられるように

脳神経外科では、脳をはじめ脊髄から末梢神経までの神経の病気や脳卒中などに伴う脳血管障害、及び外傷などの治療を取り扱います。

脳神経内科やリハビリなどの他部門との連携を行い、多様なニーズに応えられるよう診療を行っており、脳卒中や脳の病気の早期発見・予防、及び認知症の早期発見などのため、脳ドックを行っています。



手術実績

手術名	H30	R1
脳刺激装置交換術	66	63
穿頭血腫除去	9	0
水頭症手術 (VA・VPシャント術)	5	0
その他	4	22
合計	84	85

医師



江口 議八郎 (昭和57年卒)

専門分野 脳神経外科専門
頭痛専門

資格・学会等 日本脳神経外科学会 [専門医]
指定難病医療費助成制度 [指定医]
日本頭痛学会 [専門医]

24時間、やさしい救急医療を目指しています

救急科では、救急センターを中心として24時間体制で、診療を行っております。

当院の救急センターは救急専門医と各診療科の医師が連携し、患者さんにとってやさしく、専門性の高い救急医療の提供を目指しています。



1日平均 救急患者数
(救急センター)
25人

1日平均 入院患者数
29人

年間救急車数
H29 1,326台
H30 1,325台
R1 1,192台

ドクターヘリ受入
5件

救急外来受診疾患の内訳

外科系疾患	割合
手指切断、手指骨折、挫創	14.4%
肘内障、変形性膝関節症	10.4%
頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア	10.0%
膝関節捻挫、足関節骨折	9.1%
足部打撲傷、趾部骨折	8.8%
頭部打撲、顔面切創	8.3%
肘関節部打撲傷、前腕切創	6.3%
外傷性頸部症候群、頸部捻挫	5.4%
腰部打撲傷、腰椎圧迫骨折	4.4%
鎖骨骨折、上腕骨骨折	4.2%
その他	18.7%
	100%

内科系疾患	割合
急性上気道炎、感冒	8.8%
インフルエンザ、肺炎	8.3%
高血圧症	7.2%
蜂窩織炎	5.3%
心房細動、心不全	4.1%
頭痛、迷走神経失神	3.6%
脱水症、高脂血症	3.6%
糖尿病	3.5%
感染性胃腸炎	3.5%
動悸、胸部痛	3.2%
その他	48.9%
	100%

医師



理事長・救急センター長
米満 弘一郎 (平成12年卒)

専門分野 救急医療・外傷救急
集中治療・総合診療

資格・学会等

日本救急医学会〔専門医〕
日本集中治療医学会〔専門医〕
日本リハビリテーション医学会〔会員〕
日本外科学会〔会員〕
日本臨床内科医学会〔会員〕



宮崎 博喜 (平成10年卒)

専門分野 総合診療科・心療内科
腎臓内科・救急医療

資格・学会等

日本内科学会〔総合内科専門医〕
日本腎臓学会〔専門医〕
日本禁煙学会〔認定指導医〕
日本医師会〔産業医〕

外科 非常勤医師

門岡 康弘

所属

熊本大学医学部附属病院

放射線科
・
地域医療連携画像診断センター

迅速で正確な画像診断によって診療を支える

当院の放射線科ではCT、MRI、骨密度装置などを駆使し、迅速で正確な画像診断を行うために常に努力を続けています。

また、院内における検査に限らず、「地域医療連携画像診断センター」として、近隣医療機関からの検査依頼も受け付けており、幅広い疾患の検査を数多く行っています。



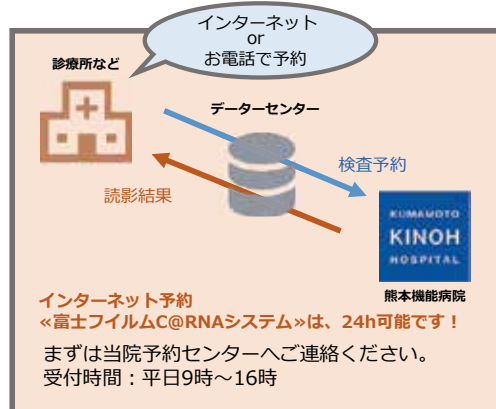
	CT撮影件数	MRI撮影件数
全件数	6,413件	4,862件
うち外部からの依頼件数	148件	234件

当院では画像診断管理加算2も算定しています。専門医にて全件数を読影し、翌診療日までに主治医に報告する体制を整えています。

地域医療連携画像診断センター
画像診断サービスを提供しています

CT (造影、心臓血管3Dも可)
MRI (造影、MRCPも可)
骨密度測定装置をご利用いただけます。

- 専門医による読影結果を翌診療日までにオンラインで確認できます。
- 電話にて専門医と相談も可能です。(平日9時~16時まで)
- 検査結果について
 - 検査後の画像はCD-ROMで患者さんへ当日お渡し
 - 読影結果を翌診療日までにオンラインで報告



医師



中山 善晴 (平成7年卒)

専門分野 腹部・骨軟部画像診断学

資格・学会等

日本医学放射線学会 [専門医/診断専門医]
日本放射線科専門医会 [会員]
日本遠隔医療学会 [会員]
オートプシー・イメージング学会 [会員]



石塚 恵未 (平成15年卒)

専門分野 画像診断

資格・学会等

日本医学放射線学会
[専門医/診断専門医]

麻酔科

周術期患者安全の一翼を担う

平成28年以降、麻酔科管理件数はほぼ横ばいで推移しています。麻酔科としては余力を残している状況で、常に年間2,500件に安全に対応できる体制を堅持しています。また、平成31年4月より、麻酔科医でもある救急科の赤坂医師が火曜日午後に麻酔業務に従事する運びとなり、さらにマンパワーアップされます。

ところで、従来、人工膝・股関節手術後の鎮痛法として硬膜外ブロックを用いてきましたが、平成28年6月からそれに替えて、外科医主導の関節周囲浸潤鎮痛法を取り入れています。局麻薬にステロイドを添加することにより硬膜外鎮痛に近似の鎮痛効果が得られるのはもちろん、なんと申しまして患者さんが穿刺の恐怖感から解放されることで好評を得ています。さらに、これにより術後嘔気嘔吐の発症率が低下することがあきらかになりました。今後、調査結果を公表予定です。



実績

	H30	R1
麻酔管理件数	2,453	2,445
うち全身麻酔件数	2,443	2,440
(全身麻酔率)	99.6%	99.8%

偶発症合併症名	発生率 (%)
吐き気・嘔吐	14.8
低血圧 (収縮期圧 70mmHg以下)	13.6
不整脈	12.1
のどの痛みや違和感	3.6
息こらえ (人工呼吸中の一時的な呼吸の異常)	3.4
高度徐脈 (脈拍数 40拍/分以下)	2.9
高血圧 (収縮期圧 200mmHg以上)	2.6

医師



副院長
矢野 敏之 (昭和58年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会 [認定指導医/認定医]
日本専門医機構 [麻酔科専門医]



中山 良輔 (昭和62年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会 [指導医]
日本輸血細胞治療学会 [会員]
日本緩和医学会 [会員]



今泉 隆志 (平成5年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会 [指導医]



采田 千穂 (平成9年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会 [指導医]
日本臨床麻酔学会



川本 和彦 (平成10年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等 日本麻酔科学会 [指導医]

薬剤部

ミッションは医薬品の安全使用、適正使用の推進

病棟薬剤業務、薬剤管理指導業務、DI業務などに加えて、患者・医療スタッフへの教育・指導にも重点をおき、医薬品の安全使用、適正使用の推進に努めています。医薬品適正使用のための研究活動も積極的に行っており、熊本県病院薬剤師会優秀論文賞を受賞しました。現在は、さらにポリファーマシー、院内フォーミュラリーの取り組みにも力をいれています。



	H29	H30	R1
入院中の薬剤師による服薬支援件数 (薬剤管理指導)	11,775件	11,382件	13,164件

全病棟に担当薬剤師を1人配置し、患者さんに対して薬の説明・管理を行っています。

資格 (R2年4月現在)	人数
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師・生涯研修履修認定薬剤師	11
日病薬病院薬学認定薬剤師	1
JPALS認定薬剤師	1
日本薬剤師研修センター認定薬剤師	1
認定実務実習指導薬剤師	1
医療薬学会認定薬剤師	2
抗菌化学療法認定薬剤師	1
感染制御認定薬剤師	1
周術期管理チーム薬剤師	1
骨粗鬆症マネージャー	1
スポーツファーマシスト	2
ACLS、PALSプロバイダー	1

チーム医療に貢献できるよう、専門分野の知識・技能を有する認定・専門薬剤師の育成にも積極的に取り組んでいます。

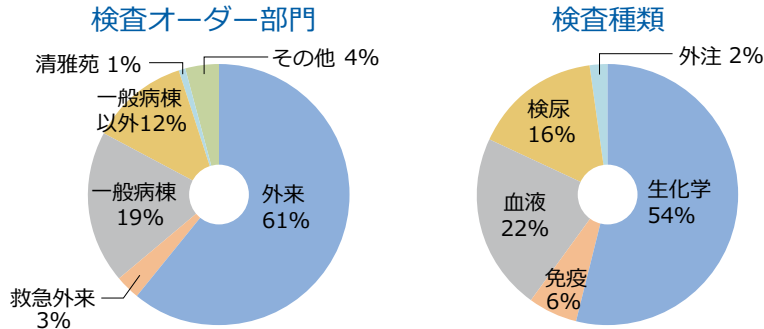
医学検査部

臨床検査課

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設」更新

「精度保証施設認証」とは、当院が提供する臨床検査のデータが「標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価できる施設」であると認証されたものです。

看護師とともに臨床検査技師が採血やインフルエンザ検査の鼻腔採取を行い、迅速に正確な検査を提供します。



神経生理センター・神経生理検査課

地域に開かれた共同利用型の神経生理検査室

当院の神経生理センターは、神経伝導検査、筋電図、体性感覚誘発電位、運動誘発電位、脳波検査などの検査を日本臨床神経生理学会専門技術師と専門医が行っている、熊本県内でも数少ない共同利用型の神経生理検査室です。また、学生実習のみならず、他の施設からの研修も受け入れています。

検査実績

	H30	R1
総検査件数	3,881件	3,851件
紹介施設数	128施設	147施設
紹介患者数	509人	568人
紹介率	27.10%	30.60%

所属技術師4名のうち

日本臨床神経生理学会専門技術師：4名



心臓生理検査課

急性期からリハビリまでトータルでサポート

心臓生理検査課では、主に循環器、血管関連の生理検査を担当しています。心臓・血管超音波をはじめ、心肺運動負荷試験、血管年齢、睡眠時無呼吸などの検査結果から得られる情報を提供することで疾患の診断を補助しています。

また、令和元年度には、体組成計を導入し栄養部、熊本健康体力づくりセンターでの運用をサポートしています。当院には、日本超音波医学会の認定超音波栄養士（循環器）が在籍しており、精度の高い検査結果の提供に努めています。



検査実績

主な検査	H30	R1
心エコー	4,278件	4,111件
トレッドミル	47件	38件
血管超音波	1,120件	1,113件
心臓カテーテル（検査・治療）	134件	107件
ABI	510件	465件
CPX	129件	71件
ホルター心電図	307件	274件
安静心電図	7,503件	7,282件
肺機能	2,428件	2,395件
睡眠時無呼吸（簡易型・精査型）	45件	43件
血管年齢（中心血圧測定：AI）※平成29年4月より実施	183件	117件

栄養部

「楽しい食事」と「適切な栄養管理」で入院生活をサポート

栄養部門では、安心安全な美味しい食事の提供と、適切栄養管理をもって患者さん中心の医療に貢献することをミッションとして日々の業務に取り組んでいます。

2019年度は“楽しい食事”の一環として、朝食ビュッフェや病棟カレーサービスを行いました。管理栄養士は病棟チームの一員として、ADL向上と在宅復帰を目標に、患者さん寄り添った栄養管理を目指しています。



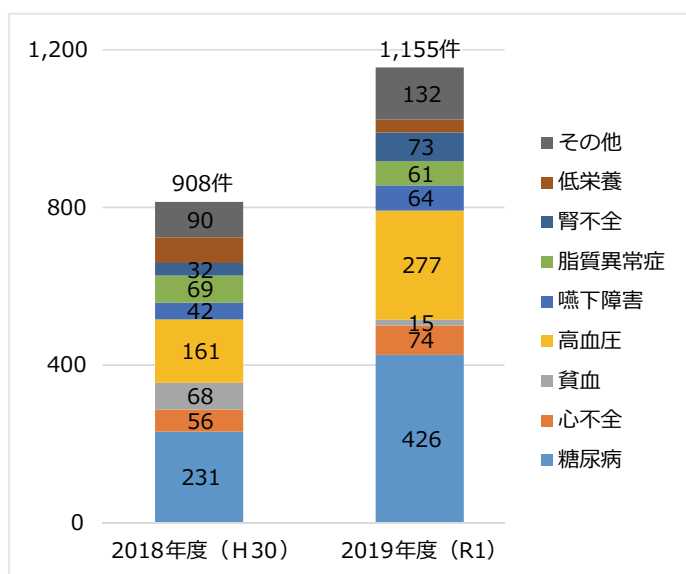
資格

資格（2020年4月現在）	人数
NST専門療法士	2
病態栄養認定管理栄養士	4
糖尿病療養指導士	5
骨粗鬆症マネージャー	1
健康運動指導士	1

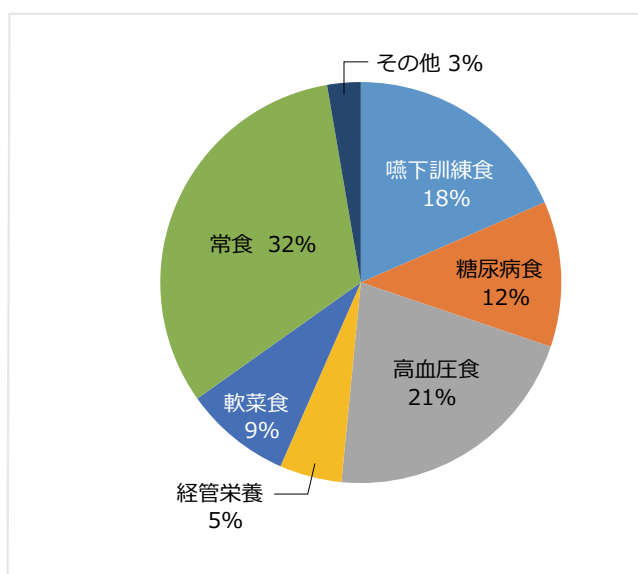
栄養指導の実績

	H30	R1
栄養指導（加算）件数	908 (608) 件	1,155 (889) 件

【栄養指導内訳】



【総給食数に対する治療食等の割合】



総合リハビリテーション部

最高のリハビリテーションサービスを目指します

1981年の開院時からリハビリテーション（リハ）部門を有し、リハ専門職だけでなく多職種でのチームワークによって「身体機能の回復」と「日常生活活動の向上」「復学・復職」「スポーツ復帰」「高齢者の在宅生活の延伸」などを目指し、常に最高のリハサービスの提供に努力しています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士によるリハの他、歯科衛生士もリハスタッフとして協働し、口腔・嚥下リハの一翼を担っています。



Neuro-activative Rehabilitation Center (NARC : ナーク) を開設しました。

今年度から総合リハビリテーションセンターでは、リハ分野で発展が著しい治療機器や検査・評価機器の中から当院の入院患者さんに適したものを選定し適応させることを目的とした機能を持つ Neuro-activative Rehabilitation Center (NARC : 神経活性化リハセンター (愛称 : ナーク)) を開設しました。

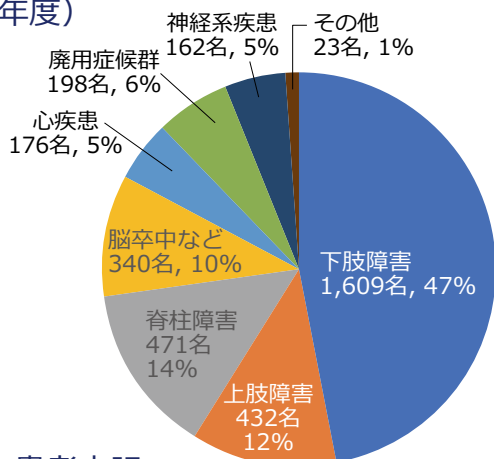
毎年多くのリハ機器が開発されていますが、限られた経済資源を有効に活用するためには、患者層にマッチする機器の選定、また、機器を有効に使うためのオペレーターの養成が不可欠です。NARCでは機器の選定とスタッフの技術向上のために日々努力しています。

当院のリハ関連の先端機器としては、ウェルウォーク：歩行支援ロボット（トヨタ自動車）、IVES : Integrated Volitional control Electrical Stimulator随意運動介助型電気刺激装置（OG技研）、ドライビングシミュレーター（ホンダ技研）、ウォークエイド：歩行神経筋電気刺激装置（Teijin）を導入しています。

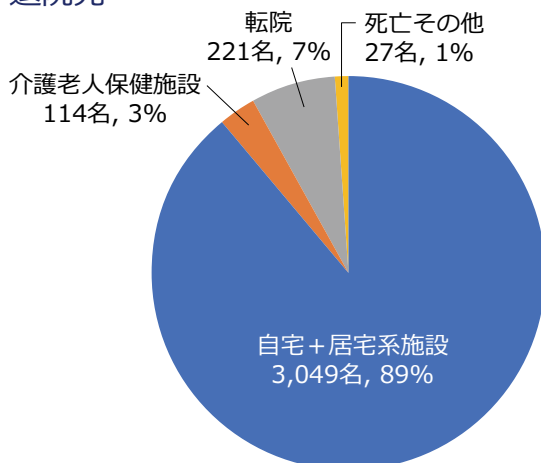
総合リハビリテーションセンター長 渡邊 進

理学療法課・作業療法課・言語聴覚療法課

入院リハビリテーション対象疾患内訳 (2019年度)



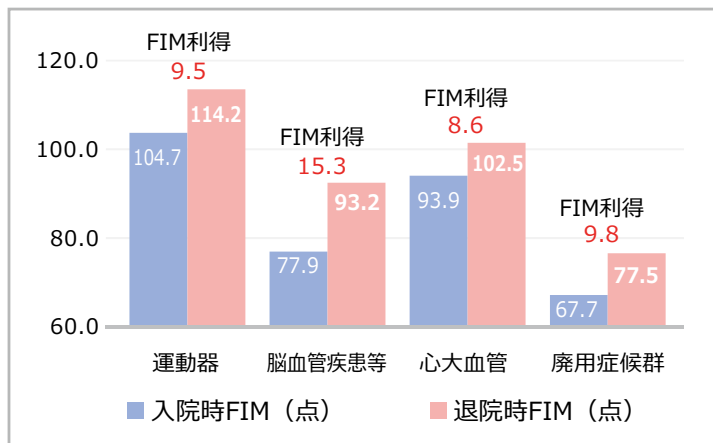
退院先



疾患別 患者内訳

	患者数	平均年齢	平均在院日数	在宅復帰率
運動器リハビリテーション	2,499人 (73.3%)	64.3歳	33.1日	93.3%
脳血管疾患等リハビリテーション	537人 (15.7%)	70.6歳	64.5日	78.8%
心大血管リハビリテーション	177人 (5.2%)	79.6歳	27.9日	79.7%
廃用症候群リハビリテーション	198人 (5.8%)	80.2歳	34.8日	77.8%

疾患別リハビリテーション FIM利得



外来リハビリテーション対象疾患内訳 (2019年度)

疾患群名	人数
膝・足関節・足部疾患（障害）	712人 (29.0%)
手外科疾患	619人 (25.2%)
肩・肘疾患（障害）	330人 (13.4%)
口唇口蓋裂	156人 (6.4%)
脊柱疾患（障害）	138人 (5.6%)
骨盤・股関節疾患（障害） 障害	109人 (4.4%)
言語発達遅延・構音障害	84人 (3.4%)
神経障害	58人 (2.4%)
心臓疾患	57人 (2.3%)
脳血管疾患・脳損傷	48人 (2.0%)
その他	145人 (5.9%)

口腔リハ課

	口腔ケア依頼件数（延人数）
熊本機能病院	572件 (6,956件)



関連施設への口腔ケア介入実施件数

	介入人数（月人数）
清雅苑	641人 (53.4人/月)
天寿園	360人 (30人/月)

R1 実習生受入状況

実習・研修受入	人数
歯科衛生士	10

資格

資格	人数
摂食嚥下認定歯科衛生士	1
在宅療養認定歯科衛生士	1

訪問歯科連携センター

熊本医科歯科病診連携事業として地域の歯科医院と連携

認定看護師種別	H30	R1
訪問歯科延人数	1,218名	1,326名
登録歯科医院	97件	106件
実稼働歯科医院	47件	47件

看護部

看護部基本方針

尊重

支援

協働

2019年10月介護部門リーダーを任命いたしました。

回復期リハビリテーション病棟と障害者施設等一般病棟において、介護の専門性をより発揮し、看護チームとしての協働を強化しています。

介護部門の取り組み

- ・介護部門の研修会の充実
- ・マニュアル等の作成
- ・介護部門業務改善



認定看護師等の資格取得状況

資格（令和2年4月現在）	人数
認定看護管理者	1名
認知症看護認定看護師	1名
感染管理認定看護師	2名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	2名
日本禁煙学会 専門指導看護師	1名
回復期リハビリテーション看護師	7名
自己血輸血認定看護師	2名
糖尿病療養指導士	3名
ACLS取得者	12名
ICLS取得者	16名
骨粗鬆症マネージャー	2名
心不全看護認定看護師（特定研修含む）	1名
合計	52名

働きやすい、働き続けられる環境づくり

- ・事業所内保育所「なないろ森の保育園」を併設しており、働きやすい環境を整備
- ・育児短時間勤務制度など多様な働き方を導入

実習・研修受け入れ状況

- ・看護大学、専門学校からの実習受け入れ（2019年度実績230名）
- ・潜在看護師就業支援
- ・高校生の一日看護体験
- ・その他各学校からの職場体験

医療安全管理部門

医療の安全を守る専門スタッフ

当院は、医療安全管理部門として、医療安全管理室、院内感染管理室、医療機器安全管理室という3つの部署を設置しており、それぞれの専門スタッフが医療の安全を守る取り組みを行っています。



医療安全管理室



院内感染管理室



医療機器安全管理室

医療安全管理室

- ・インシデント・アクシデント/ヒヤリハット報告レポートの収集
 - ・事件事例の分析および結果のフィードバック、改善対策の提案・支援
 - ・職員教育研修
 - ◎全体研修会：年2回開催（全職員）、eラーニング研修により研修率ほぼ100%
 - ◎新入職員：「チームSTEPPS」研修
 - ◎急変時対応研修（全職員対象）
 - ・医療安全推進のための活動
 - ◎医療安全推進週間（5月、11月）
 - ◎院内パトロール（委員会・推進部会合同：年2回）
 - ◎転倒転落予防ワーキンググループやリンクスタッフとの事故検証、環境ラウンド
 - ・医療安全対策地域連携相互評価（連携医療機関相互に年1回）実施
- 患者さんと職員の安全・安心を目標に、医療安全の質向上を目指しています。



「医療安全推進強化週間」院内パトロール



防護具の着脱訓練



「チームSTEPPS」研修

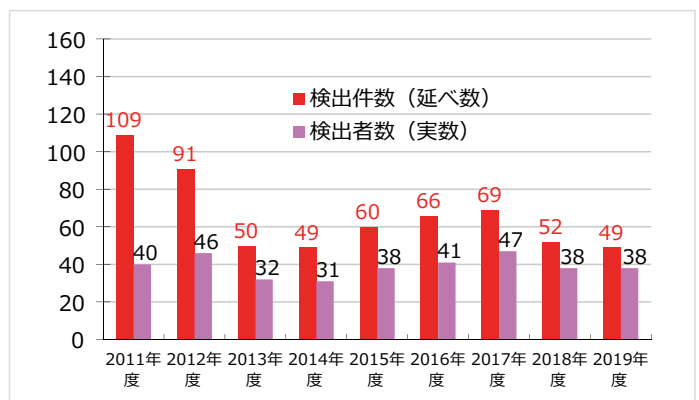
院内感染管理室

- ◆ アルコール手指消毒薬使用量調査
- ◆ 院内ラウンドの実施
 - ・感染対策実施状況ラウンド 1回/月
 - ・感染症状患者（耐性菌検出者・発熱・嘔吐・下痢）ラウンド 1回/週
- ◆ 医療関連サーベイランス(耐性菌、発熱・嘔吐・下痢症状・SSI)実施
- ◆ スタッフ教育の充実
 - ・手指衛生、吐物処理実地研修（各部署複数回）
 - ・全体研修・研修会を2回/年実施
- ◆ 職業感染対策
 - ・ワクチンプログラム実施（小児ウイルス疾患、B型肝炎、インフルエンザワクチンプログラム実施）
- ◆ 新型コロナウイルス対策
 - ・職員の移動歴・健康状態の把握と生活指導の実施
 - ・入館者の検温・体調チェック実施（トリアージ）と隔離・診察のフローチャート作成
 - ・飛沫防止対策：ビニールカーテン・アクリル板の設置、職員のゴーグル・フェイスシールド装着

指導

- ・高頻度接触域の消毒の徹底（パソコン・キーボード）
- ・タブレットを用いた診察・家族面会の導入
- ・感染疑い患者の隔離基準作成と実施状況確認
- ・PCR検査の実施
- ・マニュアル作成
- ・N95マスクを含むフル防護具の着脱訓練実施

過去9年間のMRSA検出数の推移

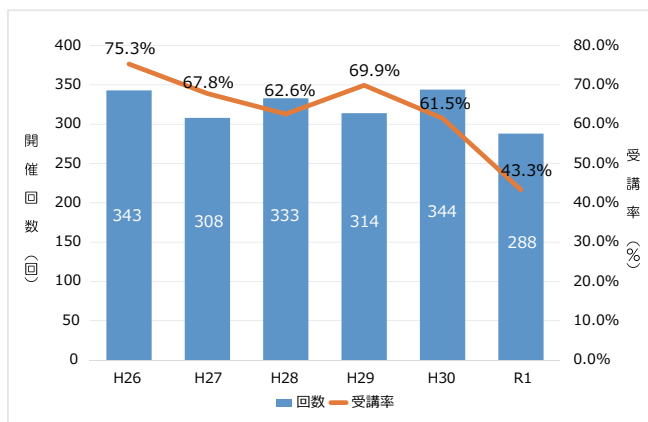


医療機器安全管理室

- ・医療機器取扱いに関するハンズオントレーニングセミナー実施（288回）
- ・輸液ポンプ操作実技テスト実施
- ・特定管理医療機器の点検実施
- ・医療機器の貸し出し稼働率の適正化
- ・医療機器適正使用に向けての情報動画提供



ハンズオントレーニングセミナー実施状況



医療連携部

医療・介護・福祉の連携強化をはかる

当院では、療養に伴う様々な不安や心配ごと等について、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が福祉の立場から、患者さんやご家族のご相談に応じて問題解決のお手伝いをします。



医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の病棟業務

入院初期から患者さんが自分らしい生活を続けていたくための様々なサービスの利用や方法をご一緒に考えさせていただきます。

患者さん・ご家族・病棟退院支援看護師・退院支援専従看護師ソーシャルワーカーにてカンファレンスを実施しています。

【入院時支援加算】2019年度 62件

【入退院支援加算1】2019年度 901件

◆在宅サービスとの連携

患者さん・ご家族の抱えるニーズを把握し、問題の解決を図るため、様々な関係機関・関係施設と密な調整・連携を行っています。

担当会議や在宅訪問等の在宅スタッフとの連携は回復期病棟・地域包括ケア病棟・障害者施設等一般病棟・一般病棟の順に実施件数が多く、在宅復帰へ向けてより入念な連携を行っています。

【介護支援連携指導料】 2019年度 90件

【退院時共同指導料2】 2019年度 2件

8:30	9:00	10:00	11:00	12:10	13:00	16:00	17:00
朝礼 部署内ミーティング	多職種カンファレンス	担当者会議	インテーク退院支援カンファレンス	昼食	在宅訪問	患者家族カンファレンス 同席	電子カルテ・MSW記録 終礼

退院後の生活について検討し、介護保険サービス等の利用調整を行います。ケアマネジャーを始めとする在宅スタッフが参加します。

入院して間もない患者さん、ご家族から入院前の生活状況や退院後の生活に関するご意向などのお話を伺い、様々な方法をご一緒に考えさせていただきます。

患者さんが円滑に在宅生活を送ることができるよう、関係スタッフ（理学療法士・作業療法士・ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・福祉用具業者等）が自宅を訪問し、住環境の把握から自宅での動作指導・生活指導やご家族への介護指導および福祉用具の選定・住宅改修の提案を行います。

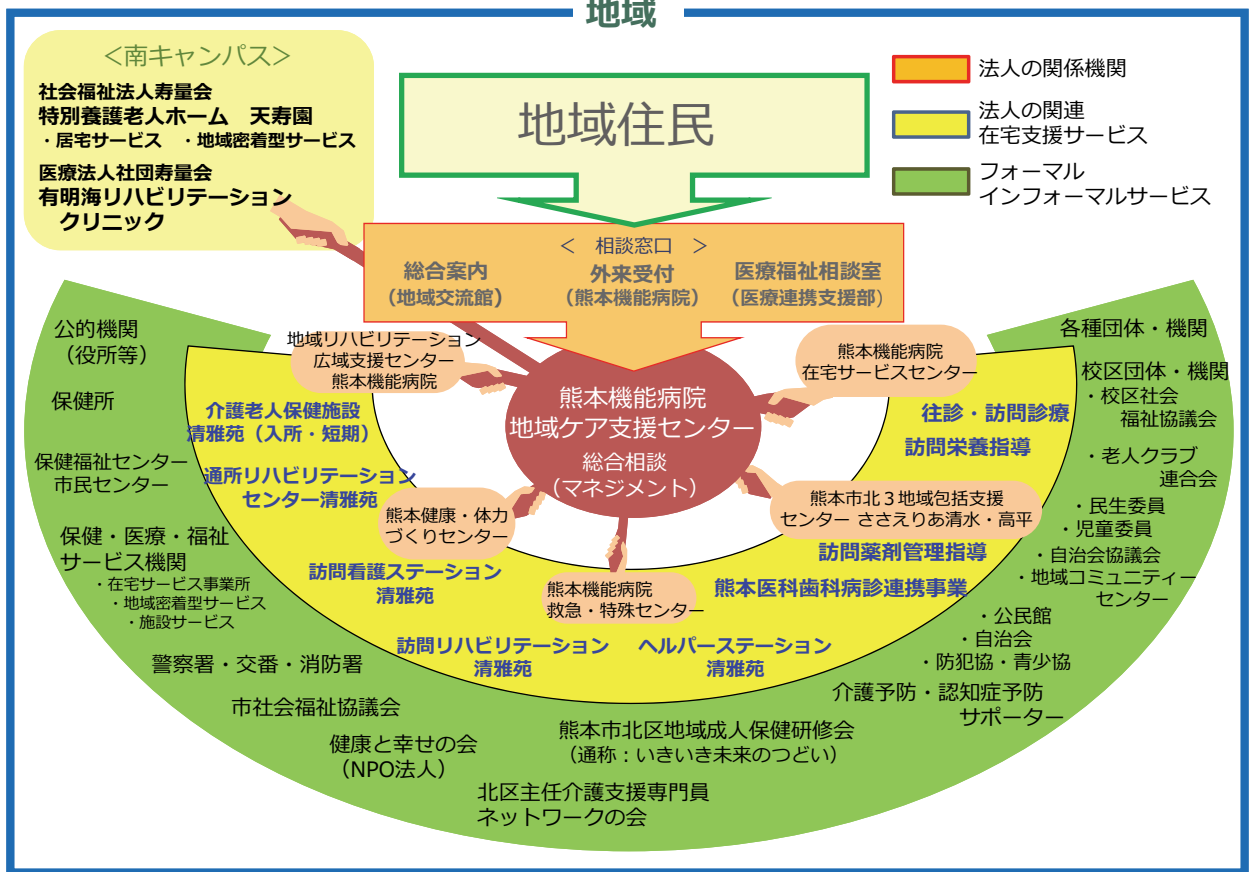
※上記スケジュールの合間に電話相談や患者さん・ご家族との面談も実施しています。

さまざまな施設と連携し、地域ケアを実現する

清雅苑は、1988年10月に熊本県第1号の老健施設として開設しました。

要介護状態にある方に専門性の高いリハビリテーション・ケアを提供し、在宅復帰を積極的に進めるとともに、在宅復帰後の生活を地域ケア支援センター（在宅サービスの総合相談窓口）と連携して実施しています。

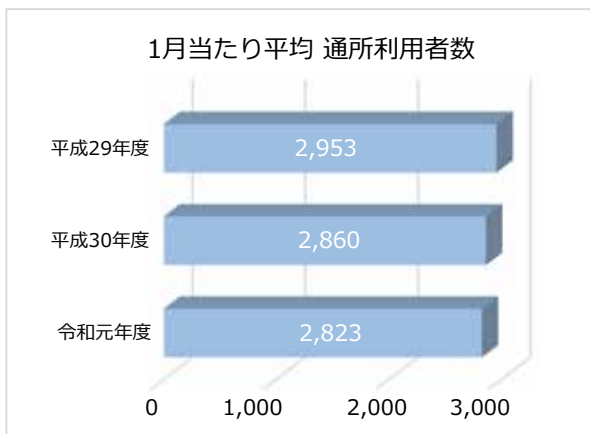
地域ケア支援センターを中心とした地域ケアサポートシステム



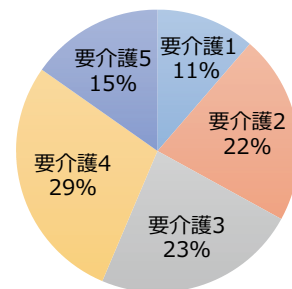
介護老人保健施設 清雅苑（在宅超強化型老健）

高い在宅復帰率を誇り、全国で15%未滿しかない在宅超強化型老人保健施設を維持しています。

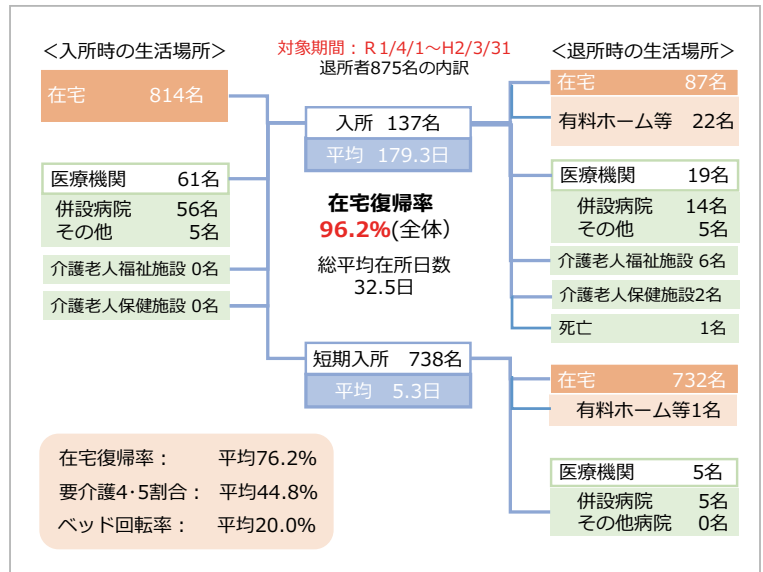
多職種協働により常に在宅生活を意識した、リハビリテーション・ケアをご利用者の状態像に合わせ提供しています。



[要介護度分布]



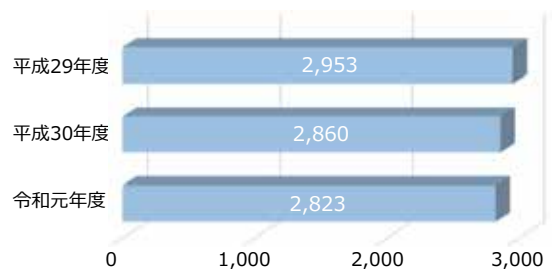
清雅苑入所者の流れ



通所リハビリテーション

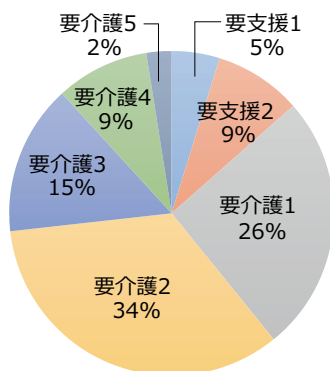
できるだけ自立し活動的な在宅生活が送れるように、充実した専門職が、医師の医学的管理に基づいて質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。リハビリの提供プロセスを管理するリハビリテーションマネジメントも、最もグレードが高いリハビリマネジメントを99%取得しています。

1月当たり平均通所利用者数

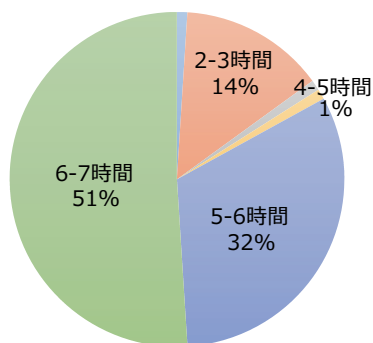


通所リハビリ利用者のデータ

[要介護度分布]



[利用時間の割合]

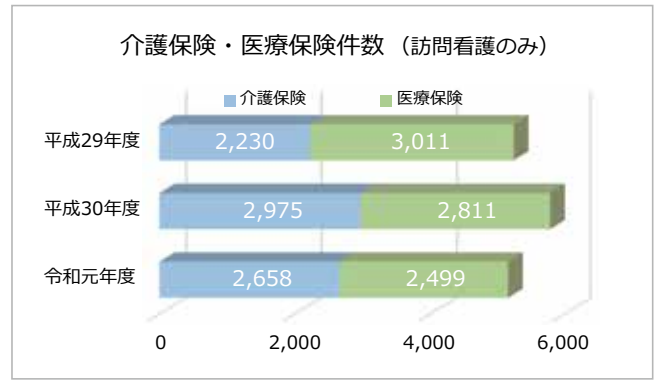
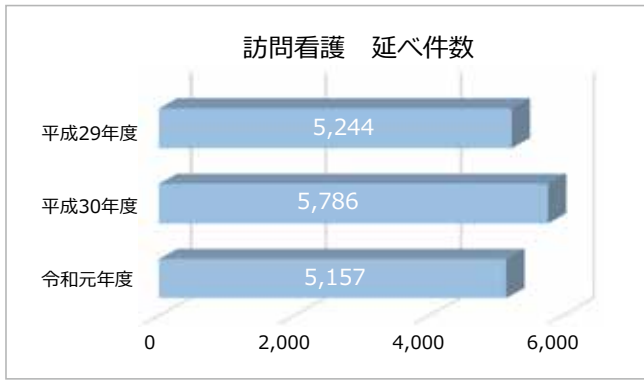


訪問サービス

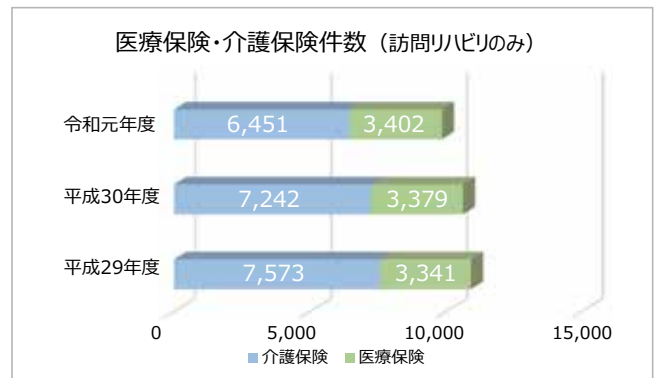
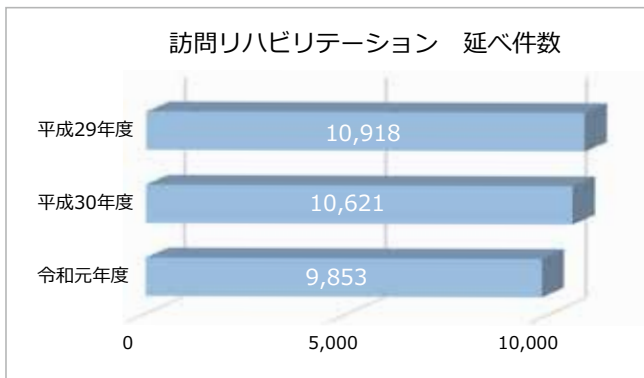
訪問看護

小児から高齢者まで幅広く対応しています。医療ケアの他、地域のクリニックの先生からの依頼でターミナルの患者さんを受け入れ、在宅生活が安心して送れるよう、緊急体制、定期訪問、臨時訪問がいつでも可能な体制をとっています。

併設病院からの退院後の難病の患者さんは入院中より医療連携部と連携しながら、情報を共有し、スムーズに在宅へ移行できるように支援しています。医療保険も対応しています。

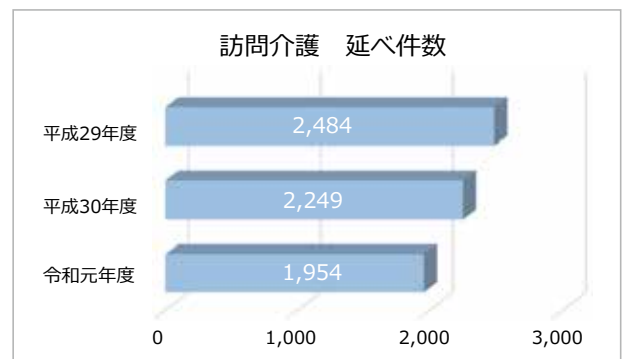


訪問リハビリ 退院・退所後及び在宅で生活機能が低下した方の心身機能の維持向上、生活の自立、地域参加を目指し、状態像に合わせたリハビリを実施します。



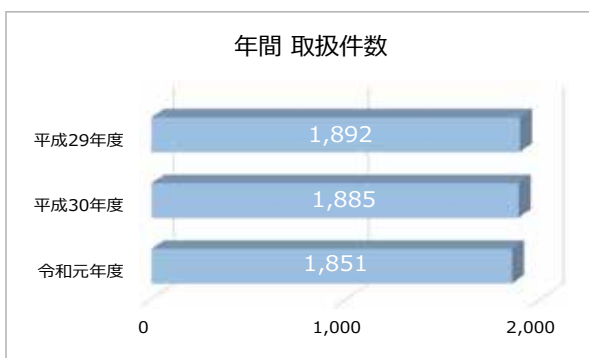
訪問介護

併設の訪問看護ステーションと連携し、利用者へサービスの提供を行っております。中重度者を積極的に受け入れ、熊本市北区を中心とした訪問介護を実施しています。

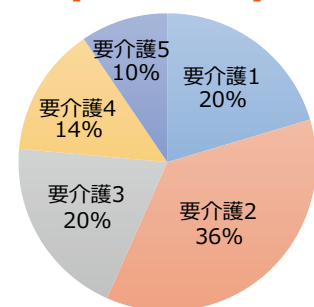


居宅介護支援事業所 熊本機能病院在宅サービスセンター

熊本機能病院、介護老人保健施設清雅苑相談室、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなどのスタッフと適切な連携を取りながら利用者及び、その家族に応じたきめ細やかなサービスを提供しています。



[要介護度分布]



介護支援専門員	7名（専従 4名・兼務 3名）
基礎資格	保健師 看護師 社会福祉士 介護福祉士



厚生労働大臣認定
健康増進施設 指定運動療法施設

スポーツ選手から高齢者まで、体力づくりを専門的にサポート

熊本健康・体力づくりセンターは、厚生労働大臣認定の健康増進施設指定運動療法施設です。当センターは、スポーツ選手のみならず、一般の方の体力づくりに必要なプログラムを専門的に提供する施設です。身体的側面だけでなく、心理面、栄養面（メンタルトレーニングや食事メニュー作成）からもそれぞれの専門知識、資格を有するトレーナーがサポートに当たります。



主な取り組み

- ・ 外来心臓リハビリテーションを熊本機能病院と連携して実施

【介護予防事業】

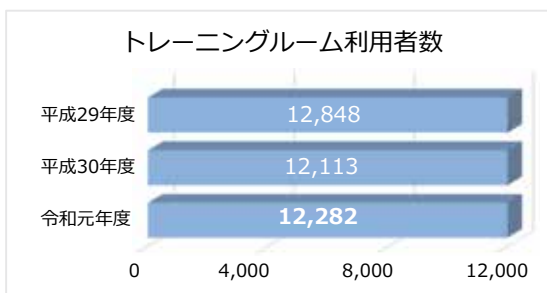
大津町、五木村、菊池市、山鹿市、宇城市、熊本市

【スポーツ事業】

鹿本高校、熊本国府高校、済々黌高校、九州東海大学
熊本北高校、ルーテル高校、再春館製薬

【メディカルチェック】

ロアッソ熊本、大津高等学校



教育・研修

セミナー主催

- ・ メディカルフィットネスセミナー開催

2020年11月開設

- ・ デイサービス「機能デイトレ」
- ・ 熊本ロボケアセンター

ロボケアセンターはCYBERDYNEのHAL®を使ったリハビリテーション機能回復支援センターです

ホームページでブログも書いています。



タブレット、スマートフォンにも対応しています。

<http://medicalfitness-kumamoto.com/>

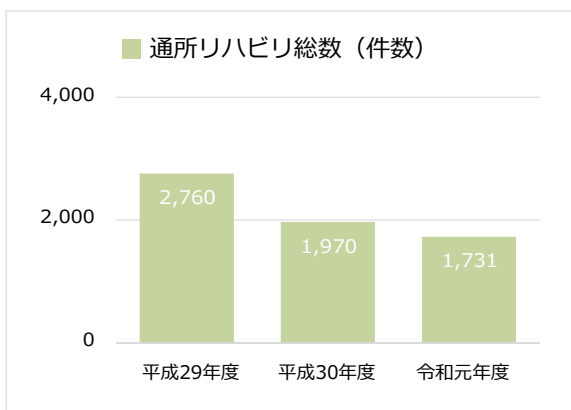
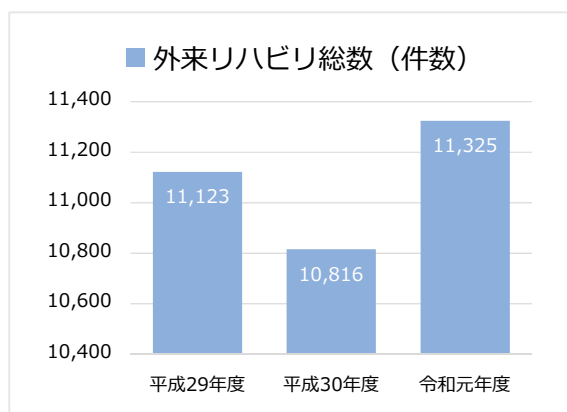
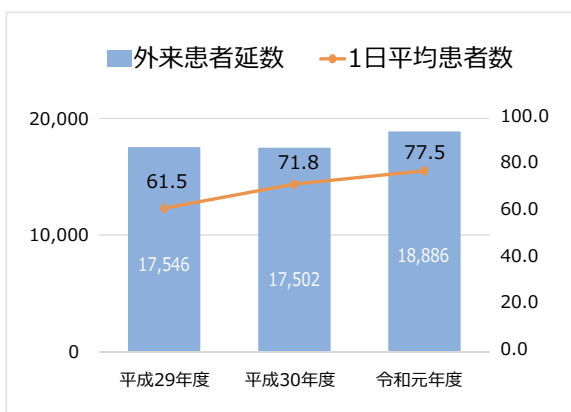
南区で地域に根差した医療を提供する

有明海リハビリテーションクリニックは、熊本市南西部の奥古閑町で平成12年6月19日に開院し、今年、開設20周年を迎えました。内科、脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科が中心の外来診療・訪問診療に加え、介護保険適応の通所リハビリテーションセンターも併設しています。天明地区の地域に根差した医療を担うとともに、同じ南キャンパス内にある天寿園をはじめとする各施設の入居者や職員の心身の健康維持にも、少数精鋭のスタッフが一丸となって取り組んでいます。



主な取り組み

- ・一般外来診療の充実化に加え、訪問診療にも力を入れ、天明地区の地域医療の担い手として貢献する。
- ・南キャンパス各施設の入居者の健康維持や看取りを実践するとともに、産業医として職員の心身の健康維持を図る。
- ・熊本機能病院との連携を通じて、専門的治療の提供や退院後のフォローを行う。
- ・南区認知症サポート指定医療機関として、地域の認知症を支える役割。
- ・地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携を図り、介護保険サービス（通所リハ）を提供する。



小国杉の香りにつつまれた保育園

「なないろ森の保育園」は平成28年4月1日に開園しました。

「なないろ」は虹が持つ希望あふれるイメージや、子どもたちのきらきら輝く様々な個性、「森」はその子どもたちがすくすくと成長する様子をあらわしています。

熊本機能病院内の地域交流館では、育休中の病院職員や地域の方を対象に、子育て支援活動「なないろフレンズ」を立ち上げ活動中です。子育て中の保護者の方々の情報交換や育児相談の場として、また、息抜きの場としてご利用いただいています。



こどもたちのため、働くお母さん、お父さんのため
笑顔の絶えない保育園づくりを目指します

主な取り組み

- ・「熊本市 地域型保育事業 事業所内保育所 保育所型」認可取得
- ・延長保育事業の実施
- ・一時預かり自主事業実施
- ・平成29年度より子育て支援事業「なないろフレンズ」の発足
◎月1回程度開催し、制作やリズム遊び等を行う



〈いっぱいあそんで・ いっぱいかんじる保育〉

- ◎ 園外活動・戸外遊びの充実
- ◎ お弁当の日の実施 年3回程度
- ◎ 介護老人保健施設 清雅苑（高齢者）との交流
・芋苗植え等
・活動を通して高齢者との交流を楽しむ



- ① なないろフレンズ
（親子ふれあい体操）
- ② 英語遊び
- ③ 2020年度の入園式
- ④ 園庭で水遊び

社会医療法人 寿量会 2019年(令和元年度)年報

発行 | **社会医療法人 寿量会**
〒860-8518 熊本県熊本市北区山室6丁目8番1号
TEL : 096-345-8111

編集・制作 | 事務部 総務課